

文化表現学科（～2023年度入学者）

2024年4月1日 更新

2024年5月24日 更新

2024年6月11日 更新

2024年9月12日 更新

科目名	文学に親しむ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナバリンクコード	CUL3111		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	日本の文学作品や作家について、古代から近代まで順を追って取り上げ、文学の魅力と意義について実感する。実際に丁寧に読むことで、それぞれの作品のもつ価値と時代や社会との関わりについて詳しく解説する。							
到達目標	1. 文学の魅力と価値について理解している。 2. 自身から読みたいと思う文学作品と出会うことができる。 3. 文学を通じて社会と歴史についての考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1. 2 ）							
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～文学とどう関わるのか	予習	これまでの読書体験を書き出す			
				復習	印象に残った作品を振り返る			
	第2回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされたのか	予習	古事記の成立、時代背景について調べる			
				復習	授業で学んだ神話についてノートにまとめる			
	第3回	内容	古事記神話～神話の影響	予習	第2回で指示した課題について調べる			
				復習	登場した神々についてノートにまとめる			
	第4回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	万葉集の特色について調べる			
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる			
	第5回	内容	万葉集～様々なうたの魅力	予習	歌が当初どう表記されていたのか調べる			
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる			
	第6回	内容	竹取物語～かぐや姫の真実	予習	竹取物語について調べる			
				復習	物語の特色についてノートにまとめる			
	第7回	内容	竹取物語の本当の面白さ	予習	全体のあらすじを調べる			
				復習	結末の意味することをよく考えてまとめる			
	第8回	内容	源氏物語～なぜ名作と評価されるのか	予習	源氏物語の特色、内容、作者について調べる			
				復習	物語の展開をノートにまとめる			
	第9回	内容	源氏物語～作者が伝えなかったこと	予習	第3部「宇治十帖」について調べる			
				復習	作者が伝えようとしたことに思いを馳せる			
	第10回	内容	宇治拾遺物語～お話し「瘤取りじいさん」の原像	予習	自分が知っている昔話を書き出す			
				復習	「瘤取りじいさん」の原話をノートにまとめる			
	第11回	内容	宇治拾遺物語～お話し「藁しべ長者」の原像	予習	昔ばなし「藁しべ長者」について調べる			
				復習	「藁しべ長者」の原話をノートにまとめる			
	第12回	内容	百人一首～どのように作られたか、うたの歴史の中で	予習	知っている「百人一首」の和歌を書き出す。			
				復習	成立と学んだ歌の背景を整理してまとめる			
	第13回	内容	つれづれ草～兼好法師の人生観と人間性	予習	つれづれ草について調べる			
				復習	授業で読んだ章段をノートにまとめる			
	第14回	内容	閑吟集と柳多留～流行歌謡と江戸川柳	予習	「小歌」と「川柳」について調べる			
				復習	授業で学んだ小歌と川柳をノートにまとめる			
	第15回	内容	宮澤賢治～何を伝えようとしたのか	予習	宮澤賢治の経歴と作品について調べる			
				復習	賢治は詩や童話で何を伝えなかったのか考える			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【自主性】（ 30 %）							
教科書	適宜資料を配布。							
参考文献	必要に応じて指示。							
補足事項								

科目名	情報と社会		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	GEE3111		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	私たちが生きているこの社会に渦巻く情報。大学生として、社会人として適切な判断、合理的な推論、自発的な発信等ができるための力を育成することを目指します。情報はどのように発生し、どのように伝わっていくのかを、具体的な社会問題を例にして解説していきます。メディアと情報の観点から、民主主義における法理論的側面を踏まえて考察する授業です。							
到達目標	1. 現実の社会問題を法的根拠に基づいて合理的な判断ができる力を身につけていく。 2. 社会問題を分析し、自分の意見を持つことができる。 3. その意見を発表、表明できるようになる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、あなたが関心ネオ持っている社会問題は？	予習	シラバスを読んでおく。	復習	授業内容を理解しておく。	
	第2回	内容	民主主義と表現の自由との関係は？	予習	表現の自由とは何かを調べておく。	復習	授業内容を自分なりに書き出してみる。	
	第3回	内容	取材と報道の自由	予習	報道の自由について調べておく。	復習	授業内容を箇条書きにしてみる。	
	第4回	内容	報道と人権侵害、ネット上の誹謗中傷	予習	誹謗中傷について調べ意見をまとめる。	復習	授業の内容を振り返っておく。	
	第5回	内容	子どもをめぐる問題 いじめ、虐待、貧困	予習	子どもの権利について調べてみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第6回	内容	コロナ禍が阻んだSDGsとは？	予習	興味のあるSDGsのゴールは？	復習	授業の内容を振り返っておく。	
	第7回	内容	ジェンダーとは何か？	予習	ジェンダーとは何かを調べる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第8回	内容	ジェンダーから読み解く社会	予習	ジェンダーが社会におよぼす影響を考えておく。	復習	ジェンダーに関する授業2回分をまとめてみる。	
	第9回	内容	振り返りと小テスト	予習	学んできた内容を確認しておく。	復習	テストの確認。	
	第10回	内容	民法をめぐる問題とは？選択的夫婦別姓など	予習	民法をめぐる裁判を調べてみる。	復習	授業の内容をまとめる。	
	第11回	内容	世界の中の日本国憲法	予習	日本国憲法の条文を読んでみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第12回	内容	新聞を使って情報分析。自分の考えをまとめる。	予習	新聞からテーマを抽出しておく。	復習	他の学生のテーマを振り返ってみる。	
	第13回	内容	「労働する」を助ける労働法	予習	労働法とは何かを調べておく。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第14回	内容	政治と社会の担い手になる	予習	選挙について自分なりの意見をまとめてみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第15回	内容	まとめ、小テスト	予習	これまでのノートを確認しておく。	復習	授業を振り返って考えをまとめる。	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出した課題にコメントをつけて返却するほか、次回の授業で解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【積極的参加】（ 20 %）							
教科書	特になし。授業の前日にクラスルームにレジュメをアップするのでプリントアウトして持参する。							
参考文献	特になし							
補足事項	本授業は対面の良さを取り入れ、アクティブラーニングで活発に議論する。							

科目名	現代社会入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナバリンコード*	GEE3112	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	授業を通して、今まで常識的に知っている事柄が意外に違っていることや、知らないことを知ることの重要性を再確認していただけるような内容をお伝えしていきたいと思えます。本当にそうなのか! ? という視点でいろいろと考える練習をしてみてください。社会がより良くなっているにはどうしたらよいかということについて、積極的に考えていくための事柄も提供していきます。						
到達目標	1. オリンピックについて詳しく説明できる 2. 政治や選挙制度のあり方について、自分なりの見解を述べるができる 3. 戦争や女性について、自分なりの意見を詳しく述べるができる						
学位授与方針	文化表現学科 (1・3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項	予習	自分なりに社会的な問題を列挙しまとめておく		
				復習	理解したことをまとめる		
	第2回	内容	オリンピックについて (1)	予習	発症や意味などについて調べてまとめておく		
				復習	理解したことをさらに調べまとめる		
	第3回	内容	オリンピックについて (2)	予習	問題点やテロについて調べまとめておく		
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる		
	第4回	内容	日本の政治について考える	予習	政治について知っていることをまとめておく		
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる		
	第5回	内容	国会の仕組みと内閣について考える	予習	国会や内閣について調べまとめておく		
				復習	理解したことをまとめる		
	第6回	内容	選挙制度と政党について考える	予習	選挙制度や政党について調べまとめておく		
				復習	理解したことをまとめる		
	第7回	内容	世界の子どもたちについて知る：アフリカ・ロシア等	予習	アフリカやロシアについて詳しく調べておく		
				復習	理解したことをさらに調べまとめる		
	第8回	内容	世界の子どもたちについて知る：アメリカ・ブラジル等	予習	アメリカやブラジルについて詳しく調べておく		
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる		
第9回	内容	日本国憲法と基本的人権について考える	予習	日本国憲法について調べまとめておく			
			復習	理解したことをまとめる			
第10回	内容	憲法改正問題について考える	予習	憲法改正について調べまとめておく			
			復習	理解したことをまとめる			
第11回	内容	戦争について考える (1)	予習	第二次世界大戦について調べまとめておく			
			復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる			
第12回	内容	戦争について考える (2)	予習	市街戦や内戦について調べまとめておく			
			復習	理解したことをまとめる			
第13回	内容	原爆と原発について考える (1)	予習	原爆について詳しく調べてまとめておく			
			復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる			
第14回	内容	原爆と原発について考える (2)	予習	原発の利点や問題点について調べまとめておく			
			復習	理解したことをまとめる			
第15回	内容	まとめ	予習	これまでに学んだことについてまとめておく			
			復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	数回にわたって小エッセイを課したりし、小テストを実施するなどして理解度を把握していきます。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (50 %)、レポート・課題 (30 %)、授業態度【発言の頻度等】 (20 %)						
教科書	特に指定はしません。						
参考文献	授業中に必要に応じて適宜、紹介していきます。						
補足事項	ニュースを聞いたり新聞などに目を通し、主体的に気になることや興味のあることについて調べていってほしいと思えます。						

科目名	心理学入門（旧心理学）	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3111	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	本講義では、発達を中心に心理学の領域全般を概観し、心理学の基礎的知識の習得と将来の社会生活や職場で活かせる基本的な心理学の考え方の育成を図ることを目的とする。						
到達目標	1. 心理学の基礎的知識を正確に習得している。 2. 心理学的に社会の事象を考えられる。 3. 学んだ知識を自己の社会生活に活かすことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2, 3）						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	講義の過程と内容を理解する。		
	第2回	内容	心理学とは何か	予習	心理学について調べる。		
				復習	心理学の概要を整理する。		
	第3回	内容	生理心理学	予習	生理心理学について調べる。		
				復習	特に脳と心の関係を整理する。		
	第4回	内容	人格心理学	予習	人格心理学について調べる。		
				復習	パーソナリティーの成り立ちを整理する。		
	第5回	内容	認知心理学	予習	認知心理学について調べる。		
				復習	心的過程を整理する。		
	第6回	内容	ディスカッション1(心の機能)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。		
				復習	新たに得た知見をまとめる。		
	第7回	内容	発達心理学①(親子関係)	予習	親子の絆を考える。		
				復習	親子関係の理論を整理・理解する。		
	第8回	内容	発達心理学②(ライフサイクル)	予習	発達心理学について調べる。		
				復習	発達段階と発達課題について整理する。		
第9回	内容	学習心理学	予習	学習心理学について調べる。			
			復習	学習の形態を整理する。			
第10回	内容	ディスカッション2(心の発達)	予習	ディスカッション2(心の発達)			
			復習	新たに得た知見をまとめる。			
第11回	内容	臨床心理学①(心の基礎理論)	予習	臨床心理学について調べる。			
			復習	臨床心理学の考え方を整理する。			
第12回	内容	臨床心理学②(心理療法の考え方とその過程)	予習	心理療法について調べる。			
			復習	各心理療法の特徴を整理する。			
第13回	内容	社会心理学	予習	社会心理学について調べる。			
			復習	代表的な社会心理学の考え方を整理する。			
第14回	内容	ディスカッション③(心の理解と対応)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。			
			復習	新たに得た知見をまとめる。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	講義の中で発表やレポートについての講評をおこなっていく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	講義の中で必要に応じて適宜紹介する						
補足事項	講義とディスカッションを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	コミュニケーション論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナバリングコード	CAE3111		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	私たちは一人では生きていけません。社会生活はコミュニケーションで成り立っています。 日常生活の中での情報は、他人を通して受容し、適切に判断し、合理的な推論をしたうえでアウトプットする人が多いと思います。そこで必要となるのは、相手の意図を読み取る力と自分の考えを伝える力です。その力が構築できるように授業を進めていきます。							
到達目標	1. 受容した情報はどのようなことを意味するのか。それを他者に説明できるようにする。 2. メディアから得た情報の真偽はどうか。それを判断できる力を身につける。 3. ネット社会の中で大学生として、社会人としてどう対処すべきかを理解する。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス コミュニケーションとは何か？	予習	シラバスに目を通しておく。	復習	コミュニケーションとは何だったのかを考える。	
	第2回	内容	自己表現のコミュニケーション	予習	自己表現とはなにかについて考えておく。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第3回	内容	人間はどのように情報を受け取るか	予習	新聞を読んでおこう。	復習	どのように情報を受け取っていたか。	
	第4回	内容	メディアのコミュニケーション能力、説得のコミュニケーション	予習	ニュースを調べてみる。	復習	メディアについて改めて考えてみる。	
	第5回	内容	メディアは社会とどうつながっているか	予習	新聞を読む。	復習	メディアと社会についてまとめてみる。	
	第6回	内容	言葉とイメージ	予習	新聞を読む。	復習	授業を振り返る。	
	第7回	内容	伝える力とスマホ脳	予習	伝える力について考える。	復習	スマホの使い方について考える。	
	第8回	内容	振り返りと小テスト	予習	レジュメに目を通す。	復習	テストを振り返る。	
	第9回	内容	うわさのコミュニケーション	予習	うわさとは何なのだろうかを考える。	復習	授業を振り返る。	
	第10回	内容	家族のコミュニケーション、組織のコミュニケーション	予習	自分の家族を考えてみる。	復習	授業を振り返る。	
	第11回	内容	ストレスコミュニケーション	予習	ストレスを感じることは何かを考える。	復習	レジュメを読んで振り返る。	
	第12回	内容	ジェンダーコミュニケーション	予習	ジェンダーを考えておく。	復習	授業を振り返る。	
	第13回	内容	異文化コミュニケーション	予習	身近にある異文化コミュニケーションの例を考える。	復習	授業を振り返る。	
	第14回	内容	アイデンティティとは何か	予習	新聞を読む。	復習	アイデンティティを考える。	
	第15回	内容	まとめと小テスト	予習	レジュメを読んでおく。	復習	これまでの授業全体を振り返る。	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出課題に対し、コメントをつけて返却するほか、次回授業で解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ 20 %）、授業態度【 積極的参加 】（20 %）							
教科書	特になし。適宜参考資料を配布する。							
参考文献	特になし。							
補足事項	前日にレジュメをクラスルームにアップするのでプリントアウトし授業に持参する。書く力、話す力を日頃から意識する。 アクティブラーニングの実施。							

科目名	データサイエンス		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	INS3121		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授業の内容	本授業では、教科書を通してデータサイエンスの基本を学習するとともに、パソコンの表計算ソフトウェアを使用して実データ（学外事業者が公開提供している集計データなど）の数値処理業務の一端を模擬的に体験し、情報リテラシー（情報倫理や情報セキュリティなどを前提とする、業務上の判断能力）の在りかたを具体的に考察する。 この授業は各年度一年生（学科不問）向けの選択科目として開講されるが、在学生（二年生以上／学科不問）も履修することができる。							
到達目標	1. テキスト読解やデータ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解している。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解している。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス：ようこそデータサイエンスへ	予習	シラバスを読み、授業全体の流れを把握する。			
				復習	教科書第1章の内容を再度精読して理解し、授業全体の学習に向けた心構えを行う。			
	第2回	内容	AIにサポートされる社会	予習	教科書第2章を通読する。			
				復習	教科書第2章の内容を再度精読し理解する。			
	第3回	内容	情報をめぐる世の中の潮流	予習	教科書第3章を通読する。			
				復習	教科書第3章の内容を再度精読し理解する。			
	第4回	内容	広がるデータ活用の幅	予習	教科書第4章を通読する。			
				復習	教科書第4章の内容を再度精読し理解する。			
	第5回	内容	AI開発の歴史といま	予習	教科書第5章を通読する。			
				復習	教科書第5章の内容を再度精読し理解する。			
	第6回	内容	情報倫理とセキュリティ	予習	教科書第6章を通読する。			
				復習	教科書第6章の内容を再度精読し理解する。			
	第7回	内容	データの種類とその活用	予習	教科書第7章を通読する。			
				復習	教科書第7章の内容を再度精読し理解する。			
	第8回	内容	データリテラシー (パソコンを用いた数値処理演習①)	予習	教科書第8章を通読する。			
				復習	教科書第8章の内容を再度精読し理解する。			
第9回	内容	データの収集と視覚化 (パソコンを用いた数値処理演習②)	予習	教科書第9章を通読する。				
			復習	教科書第9章の内容を再度精読し理解する。				
第10回	内容	データの解析方法 (パソコンを用いた数値処理演習③)	予習	教科書第10章を通読する。				
			復習	教科書第10章の内容を再度精読し理解する。				
第11回	内容	情報の利活用と方法	予習	教科書第11章を通読する。				
			復習	教科書第11章の内容を再度精読し理解する。				
第12回	内容	AIによる生活のアップデート	予習	教科書第12章を通読する。				
			復習	教科書第12章の内容を再度精読し理解する。				
第13回	内容	AIによる社会のアップデート	予習	教科書第13章を通読する。				
			復習	教科書第13章の内容を再度精読し理解する。				
第14回	内容	秩序あるデータの重要性	予習	教科書第14章を通読する。				
			復習	教科書第14章の内容を再度精読し理解する。				
第15回	内容	全体のまとめ：これからの学びに向けて	予習	教科書第15章を通読する。				
			復習	教科書第15章の内容を再度精読して理解し、情報リテラシーに関する今後の学びに備える。				
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業開講期間中、授業内容に関するリアクションペーパーを作成し提出する。 授業開講期間中、実在の集計データに対する統計処理を行い、その処理結果から得られる解釈・考察の内容をレポート化する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (75%)、授業態度【積極的参加】(25%)							
教科書	『大学基礎 データサイエンス』（伊藤 大河ほか、実教出版株式会社）							
参考文献	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博、株式会社インプレス刊）							
補足事項	1. この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在学生も受講することができる（実習期間中の授業の開講については、別途指示する）。 2. 本授業で取り上げる数値処理演習では、Microsoft Excelの標準搭載機能を利用する。 3. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 4. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合、教務課掲示板等にて通知する。							

科目名	SDGs 入門		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治 他
ナバリングコード	GEE3121		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	この授業は、所属学科を問わず、誰でも履修することができる。 SDGs (Sustainable Development Goals/日本語訳「持続可能な開発目標」)の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。この授業では全17個ある目標のうち、特に本学の学生に必要な14個の目標について学ぶ。							
到達目標	1. SDGsの提唱意義および内容を理解している。 2. SDGsへの理解を通して、日本および世界の現状を見抜く洞察力を習得している。 3. SDGsの学習を通して、社会人としての自覚を持ち、社会への貢献に係る考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3,4)							
授業計画	第1回	内容	総論(授業の進め方、MDGsからSDGへ、SDGs制定の歴史的背景、MDGsとSDGsの相違、その他)[北野・星野]	予習	シラバスに目を通しておく。	復習	授業の目的を理解する。	
	第2回	内容	目標1:あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる[加賀谷]	予習	SDGsの「目標1」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第3回	内容	目標2:飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する[橋本]	予習	SDGsの「目標2」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第4回	内容	目標3:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する[関]	予習	SDGsの「目標3」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第5回	内容	目標4:すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する[伊澤]	予習	SDGsの「目標4」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第6回	内容	目標5:ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る[信田]	予習	SDGsの「目標5」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第7回	内容	目標6:すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する[北野]	予習	SDGsの「目標6」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第8回	内容	目標7:すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する[北野]	予習	SDGsの「目標7」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第9回	内容	目標8:すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する[信田]	予習	SDGsの「目標8」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
復習				配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第10回	内容	目標11:都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする[河崎]	予習	SDGsの「目標11」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第11回	内容	目標12:持続可能な消費と生産のパターンを確保する[北野]	予習	SDGsの「目標12」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第12回	内容	目標13:気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る[北野]	予習	SDGsの「目標13」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第13回	内容	目標14:海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する[中村]	予習	SDGsの「目標14」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第14回	内容	目標15:陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物の多様性損失の阻止を図る[中村]	予習	SDGsの「目標15」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第15回	内容	目標16:持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある法相的な制度を構築する[鈴木] 総括(全体のまとめ、その他)[北野・星野]	予習	SDGsの「目標16」について概要を把握する。	復習	これまでの全配布資料などを通して授業全体を理解するとともに、今後の履修者自身のSDGsへの貢献について考察する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
予習に要する学習時間:概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間:概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業におけるリアクションペーパー等の記述および提出(詳細は各回の担当教員が指示する)を通して、SDGs全般への理解を深める。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）
教科書	必要に応じて紹介する。
参考文献	必要に応じて紹介する。
補足事項	この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在生も受講することができる。 この授業は、複数の教員が共同担当するオムニバス形式の対面授業である。取り扱うテーマごとに、担当教員は異なる。 2024（令和6）年度開講分の担当教員[授業担当コマ数]は、次のとおりである（担当順。各教員の担当授業回は「授業計画」欄を参照）。 北野大[6]、加賀谷崇文[1]、橋本洋子[1]、関維子[1]、伊澤永修[1]、信田理奈[2]、河崎由美子[1]、中村陽一[2]、鈴木みなみ[1]、星野治[2] 教員によっては、リアクションペーパーとは別に、追加の課題を出題することがある（詳細は、各授業の担当教員の指示に従うこと）。

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリンクコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	心理学、コミュニケーション、アサーション等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。							
到達目標	1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2. 学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3. 問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1,2,3）							
授業計画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。			
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。			
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第4回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第7回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。			
				復習	文献を読む。			
	第8回	内容	文献・資料収集②	予習	文献研究の概要を調べる。			
				復習	文献研究の意義と方法について理解する。			
第9回	内容	中間発表会	予習	レジュメ作成。				
			復習	レジュメの修正。				
第10回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びの展開。				
			復習	講義内容を理解する。				
第11回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。				
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
第12回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。				
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
第13回	内容	論文執筆③	予習	論文を書く。				
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
第14回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。				
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
第15回	内容	卒論発表会	予習	レジュメの完成、配布。				
			復習	論文作成を今後に生かすことを考える。				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論発表会を通して必要なフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80%）、作品・発表（20%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	特に指定しない。							
補足事項								

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータに関することを学びます。特に、デジタル作品の制作(動画作成、3Dモデル作成、3Dプリンタなど)を学習します。また、VRの体験やコミュニケーション能力向上のためのグループワークなどや、ICTを活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。本授業はある程度コンピュータが使いこなせる人がさらにコンピュータスキル向上を目指すものです。							
到達目標	1. コンピュータに関する知識を身につけている。 2. デジタル作品を制作するための知識やスキルを身につけている。 3. ゼミナール II に向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	3Dモデルの作成① Blenderの基本的操作			予習	Blenderについて調べる	
					復習	Blenderの操作について復習する		
	第3回	内容	3Dモデルの作成②			予習	作成したいデジタル作品を考える	
					復習	Blenderの操作を復習する		
	第4回	内容	3Dプリンタ			予習	3Dプリンタについて調べる	
					復習	作品の制作を振り返る		
	第5回	内容	MMD動画作成①			予習	MMDについて調べる	
					復習	MMDの基本的操作を復習する		
	第6回	内容	MMD動画作成②			予習	MMDの動きを考える	
					復習	MMDの基本的操作を復習する		
	第7回	内容	MMD動画作成③			予習	MMDの動きを考える	
					復習	MMDの作品を振り返る		
	第8回	内容	VRの体験・eスポーツ①			予習	VRについて調べる	
					復習	VRの活用について考える		
第9回	内容	VRの体験・eスポーツ②			予習	eスポーツについて調べる		
				復習	eスポーツの活用について考える			
第10回	内容	ワードプレスによるホームページ作成①			予習	ワードプレスについて調べる		
				復習	ワードプレスの仕組みに復習する			
第11回	内容	グループワーク①			予習	グループワークで行なう内容を確認する		
				復習	グループワークの計画を整理する			
第12回	内容	グループワーク②			予習	グループワークの計画を確認する		
				復習	グループワークの内容を整理する			
第13回	内容	グループワーク③			予習	グループワークの計画を確認する		
				復習	グループワークで行なったことをまとめる			
第14回	内容	ワードプレスによるホームページ作成②			予習	HTML、CSSについて調べる		
				復習	ワードプレスでの操作を復習する			
第15回	内容	ワードプレスによるホームページ作成③			予習	デザインを考える		
				復習	ワードプレスでの操作を復習する			
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品への講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的参加】(50%)							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	2年次の卒業論文・卒業制作にむけて必要な知識と技能を身につけるための授業です。文献探索の方法、探索した文献の読みかた、レポート・論文の書き方、執筆に使うソフトの使い方について学び、最終的に授業での成果をまとめて発表します。また、授業を通してゼミナールIIで扱うテーマ（図書館、公共サービス、生涯学習等について）を決定します。							
到達目標	1. 文献を探索・収集し、整理する能力を身につけている 2. 文献調査の結果を文章としてまとめ、発表することができる 3. 卒業論文執筆時に必要なツールを使用することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2、3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	自分が研究したいテーマについて考える			
	第2回	内容	文章の書き方①（要約と縮約）	予習	要約と縮約の違いを調べる			
				復習	授業内で出された課題に取り組み、提出する			
	第3回	内容	文章の書き方②（作文）	予習	テーマに合わせて作文を書く			
				復習	添削されたものを修正する			
	第4回	内容	文章作成ソフトの使い方、プレゼンテーションソフトの使い方	予習	ワードもしくはドキュメントを使用できるようにしておく			
				復習	授業内で扱った機能を一人でも使用できるように復習する			
	第5回	内容	テーマの設定	予習	研究したいテーマの候補をいくつか考えておく			
				復習	教員と相談し、テーマを決定する			
	第6回	内容	文献探索の方法	予習	CiNii Research にアクセスして使ってみる			
				復習	自身のテーマに合わせて論文を探してみる			
	第7回	内容	学術文献の読み方	予習	第6回で探した文献に目を通す			
				復習	文献購読シートをまとめる			
	第8回	内容	文献購読①	予習	研究テーマに即した文献を入手しておく			
				復習	文献購読シートをまとめる			
第9回	内容	文献購読②	予習	研究テーマに即した文献を入手しておく				
			復習	文献購読シートをまとめる				
第10回	内容	「はじめに」の作成	予習	研究のタイトルと研究目的を考えてくる				
			復習	教員と相談して、執筆を進める				
第11回	内容	グループワーク①	予習	グループワークで行なう内容を確認する				
			復習	グループワークの計画を整理する				
第12回	内容	グループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する				
			復習	グループワークの内容を整理する				
第13回	内容	グループワーク③	予習	グループワークの計画を確認する				
			復習	グループワークで行なったことをまとめる				
第14回	内容	発表準備	予習	第4回と第10回の内容を復習する				
			復習	発表資料を完成させ、提出する				
第15回	内容	発表	予習	発表の練習をしておく				
			復習	自身の発表の振り返りをする				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出物について、適宜フィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）							
教科書	指定しません。必要に応じて資料を配布します							
参考文献	『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』（井下千似子、慶應義塾大学出版会） 『日本語練習帳』（大野晋、岩波書店）							
補足事項								

科目名	ゼミナールⅠ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	SEM3221	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	卒業研究・論文・制作を作成する2年時のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが中心であるが、歴史や文化に興味のある人も対象とする。こうした分野への関心の立て方や問題意識をどのように掘り起すのか、宇治拾遺物語と小泉八雲の『怪談』を読み進める中で指導する。						
到達目標	1. ゼミナールⅡのテーマを決定できる。 2. 日本の文学・文化・歴史についての基礎知識を身に付けている。 3. 資料の収集と整理の方法を習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1, 2 ）						
授業計画	第1回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針について	予習	関心のある作者作品を書き出す		
				復習	自身のテーマを幾つかに限定する		
	第2回	内容	印象に残る読書と残らない読書の違い	予習	これまでの読書歴を書き出す		
				復習	読書に関して留意すべき事柄をまとめる		
	第3回	内容	宇治拾遺物語をよむ①昔話を含むこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	昔話の歴史的社会的背景について整理する		
	第4回	内容	宇治拾遺物語をよむ②原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	昔話「こぶとり爺さん」との違いをまとめる		
	第5回	内容	宇治拾遺物語をよむ③原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	昔話「わらしべ長者」との違いをまとめる		
	第6回	内容	宇治拾遺物語をよむ④昔話と社会通念	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す		
				復習	現代との社会通念の違いをノートにまとめる		
	第7回	内容	怪談をよむ①源平の争乱と「耳なし芳一」	予習	小泉八雲について調べる		
				復習	平家物語の壇ノ浦の戦いと安徳天皇についてノートにまとめる		
	第8回	内容	怪談をよむ②「耳なし芳一」から亡霊について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	亡霊のイメージを整理してノートにまとめる		
	第9回	内容	怪談をよむ③「お貞の話」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	転生についてノートにまとめる		
	第10回	内容	怪談をよむ④「勝五郎の転生記」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	転生についてノートにまとめる		
	第11回	内容	銀河鉄道の夜をよむ①作者宮沢賢治の生涯	予習	宮沢賢治について調べる		
				復習	宮沢賢治の生涯をノートにまとめる		
	第12回	内容	銀河鉄道の夜をよむ②午後の授業と星まつりの夜	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる		
	第13回	内容	銀河鉄道の夜をよむ③鳥を取る人	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる		
	第14回	内容	銀河鉄道の夜をよむ④宮沢賢治が伝えようとしたこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す		
				復習	「よむ」際の留意事項について過去の分と合わせて整理してまとめる		
	第15回	内容	「よむ」という行為についてまとめる	予習	これまでのノートを見直して疑問点を書き出す		
				復習	読書の作法についてノートを整理してまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【主体性】（30 %）						
教科書	その都度指示する						
参考文献	適宜支持する						
補足事項							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	Webデザインの知識とスキルを学習する。前半は「利用者にとって魅力的なWebデザインとは何か」をテーマに、自分の好きなWebサイトを通じて、構成内容や使い勝手、画像、文章に着目して考察する。後半は、ゼミナールIIに向けて、Webサイトの制作方法を習得していく。							
到達目標	1. テーマを理解して、調査し、まとめることができる。 2. 自らの考えを伝える表現の工夫ができる。 3. Webサイト制作の基礎的な技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	画像編集① ソフトの基本操作	予習	グラフィックソフトを調べる			
				復習	グラフィックソフトを使ってみる			
	第3回	内容	画像編集② サイズ変更とトリミング	予習	画像の保存形式を調べる			
				復習	保存方法を理解する			
	第4回	内容	画像編集③ 色の修正とグラデーション	予習	複数サイトからトップ画像の色使いを見ておく			
				復習	グラデーションやぼかし方をマスターする			
	第5回	内容	画像編集④ 文字入れと背景	予習	画像と文字のバランスを考える			
				復習	余白の重要性を理解する			
	第6回	内容	Webライティング① 情報収集の重要性	予習	サイトのターゲットを考える			
				復習	サイトの目的や特徴、ターゲットをまとめる			
	第7回	内容	Webライティング② タイトルとキャッチフレーズ	予習	ユーザを想定してタイトルを考える			
				復習	短く印象に残るキャッチフレーズを作ってみる			
	第8回	内容	Webライティング③ 文章のレイアウトと言葉の選び方	予習	ユーザを想定して文章を考える			
				復習	レイアウトの違いとわかりやすさを意識する			
第9回	内容	サイトの制作① HTMLファイル作成	予習	フォルダとファイルを理解する				
			復習	HTMLファイルを作成する				
第10回	内容	サイトの制作② CSSファイル作成	予習	CSSファイルの作り方を理解する				
			復習	デザインが反映しているか確認をする				
第11回	内容	サイトの制作③ レイアウト指定	予習	divタグを理解する				
			復習	レイアウトが反映しているか確認をする				
第12回	内容	サイトの制作④ フォームの作成	予習	フォームとは何か調べる				
			復習	フォームが作成できているか確認する				
第13回	内容	サイトの制作⑤ idとclass	予習	idとclassの違いを調べる				
			復習	idとclassの違いを理解する				
第14回	内容	サイトの制作⑥ 画像加工	予習	画像の著作権について調べる				
			復習	画像修正方法を振り返る				
第15回	内容	サイトの制作⑦ まとめ	予習	サイトの完成に近づける				
			復習	サイトの完成を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね35分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題・発表への講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(30%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的参加】(40%)							
教科書	必要に応じ、プリント配布する							
参考文献	なし							
補足事項	なし							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	卒業・卒業制作をすることを最終目的にそのための調査をし、自らのテーマに基づく作品を仕上げるアクティブプランニングの授業である。舞台衣装を中心にファッション・アパレルに関するアイテムはじめ想像力を磨き、衣装を学び、自ら製作することにする。							
到達目標	1. 想像力を育ために各種ファッション・アパレル製品を調査することができる。 2. 自然を学ぶためのフィールドワークを実施することができる。 3. 自らファッション・アパレルアイテムを制作することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2、3)							
授業計画	第1回	内容	授業内容についての説明	予習	何を研究したいのかを考えておく。			
				復習	何を研究したいのかを考えておく。			
	第2回	内容	日本のファッション全般を知りモチベーション向上時間	予習	自分のすきなものを考えてみよう。			
				復習	何を取り入れたいか分析してみる。			
	第3回	内容	フィールドワーク(自然の色を見る)	予習	自然研究の論文をみしておくこと。			
				復習	自然の色について考えてみよう。			
	第4回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作の予習をすること。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第5回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第6回	内容	コラージュ制作発表	予習	発表の準備をする。			
				復習	発表の内容について再度、考えてみよう。			
	第7回	内容	ファッションとSDGs	予習	SDGsについて調べておく。			
				復習	ファッションとSDGsの関連を理解する。			
	第8回	内容	ファッション雑誌の比較研究	予習	自分の気になるファッション雑誌に目を通しておく。			
				復習	自分のファッションの選択が変わったか考えてみよう。			
第9回	内容	シニアのファッションの国際比較	予習	シニアで気になるファッションを調べておく。				
			復習	国によって異なることや共通することを理解する。				
第10回	内容	ファストファッション(ユニクロ、Zaraなど)の広がりについて	予習	ファストファッションについて調べておく。				
			復習	ファストファッション普及の背景を理解する。				
第11回	内容	ハイブランドファッションについて	予習	ハイブランドについて調べておく。				
			復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。				
第12回	内容	気候風土とファッション	予習	気候風土とファッションの関係を調べておく。				
			復習	気候風土と関りがあることを理解する。				
第13回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
			復習	発表作品の改善点を考える。				
第14回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
			復習	発表作品の改善点を考える。				
第15回	内容	提出レポートと質疑応答	予習	発表に備えた準備をしておく。				
			復習	振り返って授業で得たものを確認すること。				
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品作りにあたっては教員が個別指導します。必ず教員の個別指導を受けてください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(40%)、作品・発表(30%)、実技()%、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	なし。							
参考文献	なし。							
補足事項	なし。							

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	心理学、社会事象等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には口頭発表(学科の日等にて)が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。							
到達目標	1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2. 学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3. 問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2,3)							
授業計画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等。	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。			
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。			
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第4回	内容	論文作成についての概説③	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第7回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第8回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第9回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習	配布された資料を読む。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第10回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習	配布された資料を読む。			
				復習	講義内容を理解する。			
第11回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。				
			復習	文献を読む。				
第12回	内容	文献・資料収集②	予習	テーマに関連する文献を探す。				
			復習	文献を読む。				
第13回	内容	文献・資料収集③	予習	テーマに関連する文献を探す。				
			復習	文献を読む。				
第14回	内容	卒論計画の発表会①	予習	自己の卒論計画について考える。				
			復習	レジュメ作成。				
第15回	内容	卒論計画の発表会②	予習	レジュメ内容確認と配布。				
			復習	レジュメの修正。				
第16回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びを再復習。				
			復習	講義内容を理解する。				
第17回	内容	論文内容の検討と修正①	予習	決定したテーマと構成の確認。				
			復習	講義内容を理解する。				
第18回	内容	論文内容の検討と修正②	予習	必要な文献の検討と整理。				
			復習	必要な文献の検討と整理。				
第19回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。				
			復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
第20回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。				
			復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
		内容		予習	論文を書く。			

	第 21 回		論文執筆③	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
	第 22 回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。		
	第 23 回	内容	卒論中間発表会	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
				予習	発表用レジュメ作成。		
	第 24 回	内容	論文執筆⑤	復習	助言等の整理し活用する。		
				予習	論文を書く。		
	第 25 回	内容	論文執筆⑥	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
				予習	論文を書く。		
	第 26 回	内容	論文執筆⑦	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
				予習	論文を書く。		
	第 27 回	内容	論文提出	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
				予習	提出の規定を守り、確実に提出する。		
	第 28 回	内容	卒論講評	復習	口述試験に備える。		
				予習	完成した卒論の熟読。		
	第 29 回	内容	口述試験(発表)準備	復習	講義内容を理解する。		
				予習	レジュメの作成。		
	第 30 回	内容	卒論口述(発表)試験	復習	レジュメの修正。		
				予習	レジュメの完成、配布。		
						復習	論文作成を今後に生かすことを考える。
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論提出後の口述試験(発表)を通して必要なフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) しない 成績評価の方法：レポート・課題 (80%)、作品・発表 (20%)						
教科書	特に指定しない						
参考文献	特に指定しない						
補足事項							

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータに関連する事柄をテーマとします。前半にブログサイトの制作、金融リテラシー、音楽制作などについて学び、その後コンピュータに関わる内容から各自のテーマを見つけ、そのテーマについて調査・実験を行ない、卒業制作を進めていきます。能動的な姿勢が求められます。また、コミュニケーション能力向上のためのグループワークも行なう。							
到達目標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる。 2. 各自のテーマに沿って、作品制作を進めることができる。 3. 自らの考えを分かりやすく発表できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・過去の卒業制作作品について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	ブログサイトの制作①	予習	ブログのシステムについて調べる			
				復習	ワードプレスの操作を復習する			
	第3回	内容	ブログサイトの制作②	予習	CSSについて調べる			
				復習	ワードプレスの操作を復習する			
	第4回	内容	ブログサイトの制作③	予習	デザインを考える			
				復習	サイトの出来について考える			
	第5回	内容	金融リテラシー①	予習	為替、株式、貯蓄について調べる			
				復習	金融に関する事柄について復習する			
	第6回	内容	金融リテラシー②	予習	会社の業績に関する情報について調べる			
				復習	株式と会社の指標について復習する			
	第7回	内容	金融リテラシー③	予習	為替の値動きについて調べる			
				復習	為替の値動きの特徴などを復習する			
	第8回	内容	音楽制作①	予習	音楽制作ソフトについて調べる			
				復習	音楽制作について復習する			
	第9回	内容	音楽制作②	予習	作りたい音楽を調べる			
				復習	音楽制作ソフトの操作について復習する			
	第10回	内容	音楽制作③	予習	音楽の構成について調べる			
				復習	音楽制作ソフトの操作について復習する			
	第11回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク①	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる			
				復習	グループワークを振り返る			
	第12回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク②	予習	グループワークで行なうことを確認する			
				復習	グループワークを振り返る			
	第13回	内容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第14回	内容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第15回	内容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第16回	内容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第17回	内容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第18回	内容	卒業制作のテーマに関する発表	予習	卒業制作の状況を整理する			
				復習	卒業制作に関する発表を振り返る			
第19回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する				
			復習	卒業制作の状況をまとめる				

	第 20 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 21 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 22 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 23 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 24 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 25 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 26 回	内容	グループワーク①	予習	グループワークで行なう内容を確認する
				復習	グループワークの計画を整理する
	第 27 回	内容	グループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する
				復習	グループワークの内容を整理する
	第 28 回	内容	グループワーク③	予習	グループワークの計画を確認する
				復習	グループワークで行なったことをまとめる
	第 29 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
第 30 回	内容	卒業制作の成果発表	予習	卒業制作の状況を整理する	
			復習	卒業制作の成果発表を振り返る	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題や卒業制作の作品への講評を行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（30%）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。				

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	自身の設定したテーマに沿って、卒業研究を行い、成果物として卒業論文を作成します。卒業研究を通じて、文献調査、質的調査、量的調査の基礎的な方法を学び、実践する力を身に着けます。また、卒業論文の作成や発表を通して、自身の研究成果を他者に分かりやすく伝える方法を学びます。							
到達目標	1. 自身の疑問を研究の課題として設定し、解決への計画を立てることができる 2. 調査・研究の基礎的な能力を身に着けている 3. 調査・研究の内容を他者に分かりやすく発表できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2、3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	卒業論文の構成（目次の作成）	予習	先行研究の構成を確認する			
				復習	目次を作成し、提出する			
	第3回	内容	先行研究の収集と講読	予習	先行研究を入手する			
				復習	論文購読シートを完成させる			
	第4回	内容	先行研究の収集と講読②	予習	先行研究を入手する			
				復習	論文購読シートを完成させる			
	第5回	内容	調査方法①（質的調査）	予習	質的調査とは何か調べる			
				復習	自身の卒業研究に使う研究方法を理解する			
	第6回	内容	調査方法②（量的調査）	予習	量的調査とは何か調べる			
				復習	自身の卒業研究に使う研究方法を理解する			
	第7回	内容	研究倫理	予習	研究倫理とは何か調べる			
				復習	授業内で提示した資料を読む			
	第8回	内容	調査計画の策定	予習	研究方法と時期を決めておく			
				復習	調査計画書を作成し、提出する			
	第9回	内容	資料収集①	予習	調査に必要な資料を収集しておく			
				復習	予備調査の内容をまとめる			
	第10回	内容	資料収集②	予習	調査に必要な資料を収集しておく			
				復習	予備調査の内容をまとめる			
	第11回	内容	調査資料の作成①	予習	質問票の内容を考えてくる			
復習				質問票を作成し、提出する				
第12回	内容	調査資料の作成②	予習	質問票の修正をする				
			復習	調査の同意書を作成し、提出する				
第13回	内容	調査の実施	予習	調査対象者を決めてくる				
			復習	調査対象者にアポイントメントを取る				
第14回	内容	調査の実施②	予習	調査計画を再度確認しておく				
			復習	調査の記録を作成する				
第15回	内容	調査の実施③	予習	前回の調査の不足分を確認しておく				
			復習	調査の記録を作成する				
第16回	内容	調査結果の分析	予習	調査記録をまとめておく				
			復習	教員と相談しつつ、分析を進める				
第17回	内容	調査結果の考察	予習	分析の結果をまとめておく				
			復習	考察の結果をまとめ、提出する				
第18回	内容	中間発表の準備	予習	これまでの調査の内容と結果を整理する				
			復習	発表資料を作成し、提出する				
第19回	内容	中間発表	予習	発表の練習をする				
			復習	自身の発表の振り返りを行う				
第20回	内容	卒業論文の執筆	予習	ゼミナールⅠで作成した「はじめに」を見直す				
			復習	第1章を完成させ、提出する				
第21回	内容	卒業論文の執筆②	予習	自身の研究に出てくる専門用語の定義をまとめておく				

			復習	第2章の執筆を進める
第22回	内容	卒業論文の執筆③	予習	調査の結果について執筆を進める
			復習	書き上げた内容を推敲する
第23回	内容	卒業論文の執筆④	予習	調査の分析について執筆を進める
			復習	教員と相談し、添削を受ける
第24回	内容	卒業論文の執筆⑤	予習	全体の考察について執筆を進める
			復習	書き上げた内容に矛盾がないか確認する
第25回	内容	卒業論文の執筆⑥	予習	原稿の誤字・脱字を確認する
			復習	内容の最終確認を行う
第26回	内容	グループワーク	予習	グループワークで行なう内容を確認する
			復習	グループワークの計画を整理する
第27回	内容	グループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する
			復習	グループワークの内容を整理する
第28回	内容	グループワーク③	予習	グループワークの計画を確認する
			復習	グループワークで行なったことをまとめる
第29回	内容	最終発表の準備	予習	卒業論文の内容をパワーポイントでまとめる
			復習	発表資料を作成し、提出する
第30回	内容	最終発表	予習	発表の練習をする
			復習	自身の発表の振り返りを行う
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。				
課題へのフィードバック	調査計画、論文、発表資料のそれぞれについて、個別にフィードバックを行います			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（30%）、授業態度【主体的な姿勢】（20%）			
教科書	指定しません。必要に応じて授業資料を配布します			
参考文献	『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』（井下千似子、慶應義塾大学出版会） その他、テーマや調査方法にあわせて、授業内で指示します			
補足事項	調査の実施は、調査対象者との日程調整の結果、授業日・時限が変更になる場合があります			

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	ゼミナールⅠに引き続いて日本の文学・文化・歴史などから自身が設定したテーマに基づいて考察を加える。論文や作品の完成に向けて実際に作業を進めていく。							
到達目標	1. 興味と関心に応じたテーマを自ら設定することができる。 2. 論文や作品を完成して他者に伝えられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1、2）							
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～ゼミナールⅠをふり返る			予習	ゼミナールⅠの資料とノートの整理と確認	
					復習	学習の段階を年間予定表として作成する		
	第2回	内容	神話のテーマ①古事記			予習	古事記に関する資料と1年次のノートを整理しておく	
					復習	授業の内容を整理してノートにまとめる		
	第3回	内容	神話のテーマ②古事記			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
					復習	古事記の魅力と特性を整理してノートにまとめる		
	第4回	内容	神話のテーマ③古事記			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
					復習	授業の内容を整理してノートにまとめる		
	第5回	内容	和歌のテーマ①万葉集			予習	万葉集に関する資料と1年次のノートを整理しておく	
					復習	授業の内容を整理してノートにまとめる		
	第6回	内容	和歌のテーマ②万葉集			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
					復習	授業の内容を整理してノートにまとめる		
	第7回	内容	和歌のテーマ③万葉集			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
					復習	万葉集の魅力と特性を整理してノートにまとめる		
	第8回	内容	物語のテーマ～①竹取物語			予習	竹取物語について調べて疑問点を書き出す	
					復習	竹取物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる		
	第9回	内容	物語のテーマ②源氏物語			予習	源氏物語について調べて疑問点を書き出す	
					復習	授業の内容を整理してノートにまとめる		
	第10回	内容	物語のテーマ③源氏物語			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す	
					復習	源氏物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる		
第11回	内容	説話のテーマ①宇治拾遺物語			予習	宇治拾遺物語について調べて疑問点を書き出す		
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
第12回	内容	説話のテーマ②宇治拾遺物語			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
第13回	内容	説話のテーマ③宇治拾遺物語			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
				復習	宇治拾遺物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
第14回	内容	歌謡のテーマ～①梁塵秘抄			予習	梁塵秘抄について調べて疑問点を書き出す		
				復習	梁塵秘抄の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
第15回	内容	歌謡のテーマ～②閑吟集			予習	閑吟集について調べて疑問点を書き出す		
				復習	閑吟集の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
第16回	内容	近代文学のテーマ①宮沢賢治			予習	宮沢賢治について調べて疑問点を書き出す		
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
第17回	内容	近代文学のテーマ②宮沢賢治			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
				復習	賢治作品の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
第18回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む①			予習	川端康成について調べて疑問点を書き出す		
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
第19回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む②			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	内容				予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		

	第20回		近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む③	復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第21回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む④	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第22回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む⑤	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	伊豆の踊子の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第23回	内容	民俗文化のテーマ柳田国男と遠野物語	予習	遠野物語を読んで疑問点を書き出す
				復習	遠野物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第24回	内容	テーマに応じた個別指導①	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第25回	内容	テーマに応じた個別指導②	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第26回	内容	中間発表会	予習	これまでの成果を発表できるようまとめておく
				復習	自身への質問・意見などをまとめ整理する
	第27回	内容	テーマに応じた個別指導③	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第28回	内容	テーマに応じた個別指導④	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第29回	内容	テーマに応じた個別指導⑤	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第30回	内容	最終発表会	予習	論文、作品を完成する
				復習	相互に交換した疑問・意見などを課題に反映してまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	提出時にコメントする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ 70%）、実技（ %）、授業態度【主体性】（ 30%）				
教科書	必要に応じて配布する				
参考文献	必要に応じて指示する				
補足事項					

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	Webサイトを制作する。情報発信について検討を重ねて、作品で表現することに力を注ぐ。見る・考える・表現する（発信する）を繰り返し、よりよい表現方法を考究していく。							
到達目標	1. 情報を整理できる。 2. 作品を制作できる技術を身につけている。 3. 解決すべき問題・課題を見つけ、取り組むことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Webサイトの目的	予習	作品のテーマを考える			
				復習	作品のテーマを見直す			
	第3回	内容	使い勝手の分析	予習	作品デザインを考える			
				復習	作品デザインを見直す			
	第4回	内容	SEOと高速化	予習	SEOについて調べる			
				復習	SEOについて復習する			
	第5回	内容	トレンド調査レイアウトとビジュアル	予習	Webサイトのトレンドを調べる			
				復習	Webサイトのトレンドを調べなおす			
	第6回	内容	トレンド調査まとめレポート	予習	Webサイトのトレンドをまとめる			
				復習	Webサイトのトレンドをまとめる			
	第7回	内容	デザイン①配色	予習	配色について調べる			
				復習	作品の配色を決める			
	第8回	内容	デザイン②フォント	予習	フォントについて調べる			
				復習	作品のフォントを決める			
	第9回	内容	デザイン③余白	予習	paddingとmarginを振り返る			
				復習	作品トップページのイメージを決める			
	第10回	内容	言葉のニュアンス	予習	Webライティングについて調べる			
				復習	Webライティングについてまとめる			
	第11回	内容	発信情報の整理と設計	予習	作品の情報整理をする			
復習				作品の情報整理をする				
第12回	内容	構成と他サイトのリサーチ	予習	作品の構成を考える				
			復習	作品の構成を考える				
第13回	内容	ワイヤーフレーム作成①	予習	ワイヤーフレームを作る				
			復習	ワイヤーフレームを作る				
第14回	内容	ワイヤーフレーム作成②	予習	ワイヤーフレームを作る				
			復習	ワイヤーフレームを作る				
第15回	内容	ワイヤーフレーム提出	予習	ワイヤーフレームを作る				
			復習	作成手順を書きだす				
第16回	内容	作成計画①	予習	作成手順を書きだす				
			復習	計画書を作成する				
第17回	内容	作成計画②	予習	計画書を作成する				
			復習	計画書を見直す				
第18回	内容	作品制作・個別指導①	予習	制作の準備をする				
			復習	素材収集する				
第19回	内容	作品制作・個別指導②	予習	制作計画を確認する				
			復習	素材収集する				
第20回	内容	作品制作・個別指導③	予習	制作計画を確認する				
			復習	素材を編集する				
第21回	内容	作品制作・個別指導④	予習	制作の進捗状況を確認する				
			復習	制作の疑問点を調べる				

	第 22 回	内容	中間発表	予習	発表準備する	
				復習	問題点をまとめる	
	第 23 回	内容	作品制作・個別指導⑤	予習	作成計画の見直し	
				復習	制作の疑問点を調べる	
	第 24 回	内容	作品制作・個別指導⑥	予習	制作の進捗状況を確認する	
				復習	制作の疑問点を調べる	
	第 25 回	内容	作品制作・個別指導⑦	予習	制作の進捗状況を確認する	
				復習	制作の疑問点を調べる	
	第 26 回	内容	作品制作・個別指導⑧	予習	制作の進捗状況を確認する	
				復習	作品の全体像について見直す	
	第 27 回	内容	作品制作・個別指導⑨	予習	制作の進捗状況を確認する	
				復習	作品の全体像について見直す	
	第 28 回	内容	作品制作・個別指導⑩	予習	制作の進捗状況を確認する	
				復習	作品の全体像について見直す	
	第 29 回	内容	作品最終チェックと動作確認	予習	作品の文章・著作権をチェックする	
				復習	作品の問題点を整理して、調整する	
	第 30 回	内容	作品成果発表	予習	発表準備する	
				復習	作品発表を振り返る	
	予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。					
	課題へのフィードバック	レポート、課題、作品への講評を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（30%）					
教科書	必要に応じ、プリント配布する					
参考文献	なし					
補足事項	なし					

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	卒業・卒業制作をすることを最終目的についてのそのための調査をし、自らのテーマに基づく先品を仕上げるアクティブラーニングの授業である。舞台衣装について日本・韓国などのアジアや欧米各国の製品作りを目指す。							
到達目標	1. 1. 想像力を育ために各種ファッション・アパレル製品を調査することができる。 2. 自然を学ぶためのフィールドワークを実施することができる。 3. 自らファッション・アパレルアイテムを制作することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）							
授業計画	第1回	内容	授業内容についての説明	予習	何を研究したいのかを考えておく。			
				復習	何を研究したいのかを考えておく。			
	第2回	内容	日本のファッション全般を知りモチベーション向上時間	予習	自分のすきなものを考えてみよう。			
				復習	何を取り入れたいか分析してみる。			
	第3回	内容	フィールドワーク(自然の色を見る)	予習	自然研究の論文をみておくこと。			
				復習	自然の色について考えてみよう。			
	第4回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作の予習をすること。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第5回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第6回	内容	コラージュ制作発表	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第7回	内容	ファッションとSDG	予習	SDGsについて調べておく。			
				復習	ファッションとSDGsの関連を理解する。			
	第8回	内容	ファッション雑誌の比較研究	予習	自国によって異なることや共通することを理解する分の気になるファッション雑誌に目を通しておく。			
				復習	自分のファッションの選択が変わったか考えてみよう。			
	第9回	内容	シニアのおしゃれの国際比較	予習	シニアで気になるファッションを調べておく。			
				復習	国によって異なることや共通することハイブランドが与えた影響を理解する。			
	第10回	内容	ファストファッション(ユニクロ、Zaraなど)の広がりについて	予習	ファストファッションについて調べておく。			
				復習	ファストファッション普及の背景を理解する。			
	第11回	内容	ハイブランドファッションについて	予習	ハイブランドについて調べておく。			
				復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。			
	第12回	内容	気候風土とファッション	予習	気候風土とファッションの関係を調べておく。			
				復習	気候風土と関りがあることを理解する。			
	第13回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の持っているおしゃれアイテム、組み合わせを準備。			
				復習	発表した組み合わせの改善点を考える。			
	第14回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の持っているおしゃれアイテム、組み合わせを考え、準備。			
				復習	発表した組み合わせの改善点を考える。			
	第15回	内容	提出レポートと質疑応答	予習	発表に備えた準備をしておく。			
				復習	発表に備えた準備をしておく。			
	第16回	内容	日本のおしゃれ	予習	日本の文化を調べておく。			
				復習	日本の文化を理解する。			
	第17回	内容	韓国のおしゃれ	予習	韓国の文化を調べておく。			
				復習	韓国の文化を理解する。			
	第18回	内容	アメリカのおしゃれ	予習	アメリカの文化を知る。			
				復習	アメリカの文化を理解する。			
第19回	内容	国によってのおしゃれ イタリア	予習	イタリアの文化を知る。				
			復習	イタリアの文化を理解する。				

第20回	内容	モンゴルのおしゃれ	予習	モンゴルの文化を知る。
			復習	モンゴルの文化を理解する。
第21回	内容	アフリカのおしゃれ	予習	アフリカの文化を知る。
			復習	アフリカの文化を理解する。
第22回	内容	ロシア・ウクライナのおしゃれ	予習	ロシア・ウクライナの文化を知る。
			復習	ロシア・ウクライナの文化を理解する。
第23回	内容	世界のダンサーの比較	予習	世界のダンスの比較をしてみよう。
			復習	国によって衣装が変わることを理解する。
第24回	内容	クルーズ客船のクローゼット	予習	客船の旅を知る。
			復習	旅の持ち物を理解する。
第25回	内容	Kimono	予習	着物を知る。
			復習	着物を理解する。
第26回	内容	大人ファッションとは	予習	大人のお洒落って何だろう。
			復習	お洒落を大人になっても忘れないで。
第27回	内容	卒業制作	予習	卒業制作の準備。
			復習	作品の確認・手直し。
第28回	内容	卒業制作	予習	卒業制作の準備。
			復習	作品の確認・手直し。
第29回	内容	発表	予習	発表の準備。
			復習	作ったものをもう一度改善点がないか考えてみよう。
第30回	内容	まとめ	予習	一言を考えておく。
			復習	振り返って授業で得たものを確認する。
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。				
課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品作りに当たっては教員が個別指導」します。必ず教員の個別指導を受けてください。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（30%）			
教科書	なし。			
参考文献	なし。			
補足事項	なし。			

科目名	短大生基礎力演習		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳 他
ナンバリングコード	GEE3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	本授業は4人の教員が分担して行う授業です。内容は、これからの大学での学習にとって不可欠の知識及び卒業後の社会人として不可欠の知識とし、①時事問題②基礎数学③国語教養④英語等で構成します。また、大学生活を送るうえで必要な知識や姿勢について社会人に学ぶ授業を随時取り入れていきます。学生は3つのグループに分かれ、4人の教員がそれぞれ分担して1グループ2回ずつ行いことにしています。							
到達目標	1. 大学生として不可欠な基礎的な知識を身につけている。 2. 社会人として必要な基礎的な知識を身につけている。 3. 幅広い教養を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1, 3)							
授業計画	第1回	内容	大学生活及び学習生活における注意事項の説明等。	予習	学生便覧を読んでください。	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	授業内容の説明とグループ分け。	予習	4つの分野の一般的知識について調べる	復習	この科目で行なうことを復習する	
	第3回	内容	時事問題①政治・経済	予習	政治・経済の一般的知識について調べる	復習	政治・経済に関して復習する	
	第4回	内容	時事問題②環境	予習	環境の一般的知識について調べる	復習	環境に関して復習する	
	第5回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第6回	内容	基礎数学①四則計算	予習	計算の一般的知識について調べる	復習	計算に関して復習する	
	第7回	内容	基礎数学②データ解析	予習	データ解析の一般的知識について調べる	復習	データ解析に関して復習する	
	第8回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第9回	内容	国語教養①	予習	国語の一般的知識について調べる	復習	国語に関して復習する	
	第10回	内容	国語教養②	予習	国語の一般的知識について調べる	復習	国語に関して復習する	
	第11回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第12回	内容	英語①	予習	歴史の一般的知識について調べる	復習	歴史に関して復習する	
	第13回	内容	英語②	予習	地理の一般的知識について調べる	復習	地理に関して復習する	
	第14回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第15回	内容	後期のゼミの説明とゼミ決定。	予習	各ゼミについて調べる	復習	これまで行なったことを振り返る	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	各教員から課題などに対するフィードバックがあります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(80%)、作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【課題提出等】(20%)							
教科書	特に指定しません。教材は各教員が配布します。							
参考文献	とくにありません							
補足事項	上記表で示した第3回から第14回までの授業はいずれも4人の教員が同時進行するものであり、シラバスの順番通りに実施するものではありません。加賀谷崇文15回、江本全志15回、土屋深優15回、伊藤明芳15回							

科目名	ことばと表現	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3211	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	短大生に必要とされるさまざまな文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。						
到達目標	1.さまざまなタイプの文章の内容について理解している。 2.要求され事柄が的確に文章で伝えられる。 3.自らの考えが口頭で伝えられる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1、2)						
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第2回	内容	新聞記事を読む①	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第3回	内容	新聞記事を読む②	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第4回	内容	新聞記事を読む③	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第5回	内容	新聞記事を書き写す①	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第6回	内容	新聞記事を書き写す②	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第7回	内容	新聞記事を書き写す③	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第8回	内容	時事問題について考える①	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第9回	内容	時事問題について考える②	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第10回	内容	新聞記事を要約する①	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第11回	内容	新聞記事を要約する②	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第12回	内容	語彙を豊かにする①	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す	復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる
	第13回	内容	語彙を豊かにする②	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す	復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる
	第14回	内容	漢字検定に挑戦する①	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく	復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する
	第15回	内容	漢字検定に挑戦する②	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく	復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎回の授業時と提出時に各自にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(70)%、作品・発表()%、実技()%、授業態度【主体性】(30)%						
教科書	プリントを配布						
参考文献	必要に応じて指示する						
補足事項	復習を徹底して行うことが何より重要						

科目名	ことばと表現	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナンバリングコード	CUL3211	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	短大生に必要とされるさまざまな文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。						
到達目標	1. さまざまなタイプの文章の内容が理解している。 2. 要求された内容について文章で的確に伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で伝えることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1・2 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス～授業の開始にあたって	予習	一般にことばと表現とは何かを考える	復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる
	第2回	内容	国語常識	予習	便覧などから国語常識の分野の資料を探す	復習	特に間違えた問題をやり直す
	第3回	内容	敬語	予習	身の回りで用いる敬語について確認する	復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる
	第4回	内容	手紙文	予習	手紙文の形式について確認する	復習	実際に手紙文を書いてみる
	第5回	内容	論理的な文章の展開	予習	論理的文章にはどのようなものがあるか調査する	復習	論理展開の基礎知識をまとめる
	第6回	内容	正確に文章を理解する	予習	正確で早く理解する為の工夫について考える	復習	認知機能の特性と正確な理解の関係をまとめる
	第7回	内容	的確に伝える	予習	的確に伝わらない場面の事例を集める	復習	ノイズの理論に沿って解決方法を考える
	第8回	内容	クリティカルシンキングと考察	予習	クリティカルシンキングとは何か調べる	復習	クリティカルシンキングの事例を整理する
	第9回	内容	さまざまなタイプの文章 説明文①	予習	生活の中に見られる説明文を探す	復習	説明文を難しいと認識する理由を理解する
	第10回	内容	さまざまなタイプの文章 説明文②	予習	生活の中に見られる論説文を探す	復習	論説文を構造的に理解する
	第11回	内容	さまざまなタイプの文章 評論文①	予習	生活の中に見られる評論文を探す	復習	評論文の構造的特徴を意識しプリントを読む
	第12回	内容	さまざまなタイプの文章 評論文②	予習	評論文の構造について整理する	復習	構造を意識して評論文を書いてみる
	第13回	内容	さまざまなタイプの文章 文学的文章①	予習	生活の中に見られる文学的表現を探す	復習	身近な文学的表現を整理する
	第14回	内容	さまざまなタイプの文章 文学的文章②	予習	近代以降の表記の変化について調べる	復習	言文一致や外来語についてまとめる
	第15回	内容	自己表現とことば	予習	ことばで自己表現する為の素材を集める	復習	ことばの力を意識して自己表現する
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。						
課題へのフィードバック	口頭発表や提出した素材を基に振り返りを行う。毎時提出されたプリントにコメントをフィードバックする。更に補完し再提出する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）						
教科書	プリント配布します						
参考文献	都度指示します。						
補足事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出し、作成したレポートを基に発表を行います。 授業時には個人の端末（スマートフォン、タブレット、PC）を用いて、参考となるwebを閲覧します。						

科目名	情報処理演習		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	コンピュータの基本的な操作、文書作成ソフトのワード、表計算ソフトのエクセル、プレゼンテーションソフトのパワーポイントの使い方を中心に学びます。また、電子メールの使い方、マルチメディアの画像作成なども学びます。大学生活や今後の社会生活において困らないコンピュータスキルを身に付けることを目指します。							
到達目標	1. パソコンの日常生活の利用で困らないタイピングスキルを身につけている。 2. ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 3. 情報の利活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる	復習	コンピュータの操作を復習する	
	第3回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる	復習	画像編集ソフトの使い方を復習する	
	第4回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング・電子メール ICT を用いたクリッカーや双方向アンケートの活用	予習	情報モラルについて調べる	復習	タイピングの練習をする	
	第5回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる	復習	二段組みのやり方を復習する	
	第6回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる	復習	表の作り方を復習する	
	第7回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる	復習	画像の貼り付け方を復習する	
	第8回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる	復習	数式の入れ方を復習する	
	第9回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル グラフを使った情報分析	予習	家計簿の仕組みについて調べる	復習	SUMIF 関数を復習する	
	第10回	内容	エクセル グラフを使った情報分析の続き	予習	グラフの種類について調べる	復習	複合グラフの作り方を復習する	
	第11回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える	復習	セルの装飾の仕方を復習する	
	第12回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる	復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する	
	第13回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる	復習	アニメーション機能を復習する	
	第14回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える	復習	画像の背景の消し方を復習する	
	第15回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の続き	予習	スライドマスタについて調べる	復習	スライドマスタの使い方を復習する	
	第16回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる	復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する	
	第17回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる	復習	色の取得方法を復習する	
	第18回	内容	エクセル 計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる	復習	計算式の入れ方を復習する	
	第19回	内容	エクセル 関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる	復習	関数の使い方を復習する	
	第20回	内容	エクセル 関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる	復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する	

	第 21 回	内容	ワード 履歴書の作成	予習	ワードの表機能について調べる
				復習	表の作り方を復習する
	第 22 回	内容	ワード ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する
	第 23 回	内容	エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の計算について調べる
				復習	家計簿の作り方を復習する
	第 24 回	内容	エクセル 絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる
				復習	絶対参照の使い方を復習する
	第 25 回	内容	ワード・エクセル 差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる
				復習	差し込み文書のやり方を復習する
	第 26 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる
				復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する
	第 27 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる
				復習	VLOOKUP 関数を復習する
	第 28 回	内容	ワード 本の形式	予習	スタイル機能について調べる
				復習	スタイル機能を復習する
	第 29 回	内容	ワード 本の形式の続き	予習	ヘッダー・フッター機能について調べる
				復習	目次の作り方を復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	なし				

科目名	日本文化論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	明治43年（1910）柳田國男によって刊行された『遠野物語』に収められた民話や昔話を読む。そこに描かれている近代以前の人々の暮らしと自然との関わりのあり様を通して、限られた特定の人々の歴史とは異なる、後世に多くを伝えられることのない一般の人々の人生に迫る。							
到達目標	1. 民話や昔話の内容を味読できる。 2. 近代以前の人々の日常の営みを理解している。 3. 自身の内面に歴史的想像力を育てることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）							
授業計画	第1回	内容	授業を始めるにあたって	予習	幾つかの話を選んで声にして読んでみる	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第2回	内容	明治43年前後の日本と世界	予習	明治43年（1910）前後の社会について調べる	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第3回	内容	遠野物語「序文」と柳田國男の思い	予習	序文を繰り返し読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第4回	内容	「地域限定」の神々～オシラサマ・カクラサマ等々	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第5回	内容	山に棲むモノたち～山神・山人	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第6回	内容	ザシキワラシと家々の盛衰	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第7回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たちと人びとの暮らし	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第8回	内容	狼と人との葛藤	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第9回	内容	異界としての山	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第10回	内容	この世からの離別～最期に人が望むこと	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第11回	内容	異類との遭遇～カッパ・天狗	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第12回	内容	富の獲得～マヨヒガ	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第13回	内容	山地と海岸の交流	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第14回	内容	合戦と津波～史実と災害はどう記憶されたか	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第15回	内容	授業の終わりにあたって～近代以前の人々の内的世界	予習	これまでのノートを整理する	復習	当時と現代の「常識」の違いについて考察する	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【自主性】（30%）							
教科書	『遠野物語』（柳田國男 角川ソフィア文庫）							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項								

科目名	ヒューマンスキル演習	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志 他
ナバリングコード	CAE3211	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	この授業は対人基礎力を養うための授業です。近年少子化により兄弟が少ない家庭が多くなり、日常的に大人数の中で行動することが減っています。それに伴い、友達が作れないなど、人と関係を構築することが苦手な学生が増えています。この授業では、多くの交流の場を用意し、教員がサポートすることで、学生が集団の中で交流できる力を身に付けることを目指す。						
到達目標	1. 他者とうまく関わる努力ができる。 2. 自らが踏み出して他者と会話ができる。 3. 対人関係における情動やストレスのコントロールの仕方を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1, 2, 4 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・自己紹介など	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	コミュニケーションカードゲーム（グループワーク）	予習	コミュニケーションカードゲームについて調べる		
				復習	コミュニケーションについて復習する		
	第3回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える		
				復習	相談会での内容を復習する		
	第4回	内容	スポーツ演習（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる		
				復習	バレーボールの動きについて復習する		
	第5回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく		
				復習	話した内容を復習する		
	第6回	内容	スポーツ演習（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる		
				復習	バレーボールの動きについて復習する		
	第7回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく		
				復習	話した内容を復習する		
	第8回	内容	図書館の使い方と書籍や文献の検索方法	予習	図書館についての情報を確認する		
				復習	検索方法を復習する		
第9回	内容	eスポーツ	予習	eスポーツについて調べる			
			復習	eスポーツの効果について考える			
第10回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
			復習	学外研修について復習する			
第11回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
			復習	学外研修について復習する			
第12回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える			
			復習	相談会での内容を復習する			
第13回	内容	外部講師の講演	予習	講演のテーマについて確認する			
			復習	講演の内容を整理する			
第14回	内容	共同制作（グループワーク）	予習	グループワークの計画を確認する			
			復習	グループワークの内容を整理する			
第15回	内容	共同制作（グループワーク）	予習	グループワークの計画を確認する			
			復習	グループワークで行なったことをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項	状況により授業内容が変更になる可能性があります。交通費や食事代、材料費などは自己負担となります。 伊藤明芳 15 回、江本全志 15 回、土屋深優 15 回						

科目名	インターンシップ		単位数	2	授業時間数	90	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリングコード	CAE3221		授業形態	実習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	本実習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解して身につけ、また、実際の現場での実習を通して職業の実際を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考えることができ、将来の職業選択に寄与すると考えられる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人として必要なマナーや作法の基礎を身につけている。 2. 社会人としてのコミュニケーション能力の基本が身につけている。 3. 職業選択活動、就業における積極性を身につけている。 						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)	予習	インターンシップについて調べる。		
				復習	本実習の概要を理解する。		
	第2回	内容	基本的なマナー①(心構え、言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。		
				復習	各マナーを整理する。		
	第3回	内容	基本的なマナー②(電話のかけ方、受け方等)	予習	電話の応答について考える。		
				復習	電話応答について整理する。		
	第4回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種、職業の調査	予習	実習先を考える。		
				復習	実習先の情報をまとめる。		
	第5回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接マナーについて考える。		
				復習	書類の書き方を復習する。		
	第6回	内容	実習先の決定と申し込み	予習	実習先へ申し込みを準備。		
				復習	実際に実習先への連絡を実施する。		
	第7回	内容	先輩から学ぶ(先輩による体験報告会)	予習	インターンシップの体験過程を推測する。		
				復習	先輩からの学びを整理する。		
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。		
				復習	実習時の学びを振り返る。		
第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
			復習	実習時の学びを振り返る。			
第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
			復習	実習時の学びを振り返る。			
第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
			復習	実習時の学びを振り返る。			
第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
			復習	実習時の学びを振り返る。			
第13回	内容	インターンシップ実習報告会準備	予習	報告会の内容を考える。			
			復習	報告会の発表内容を確認する。			
第14回	内容	インターンシップ実習報告会②(受講生の発表)	予習	報告会の練習をする。			
			復習	報告会を振り返り学びを深める。			
第15回	内容	インターンシップ実習報告会②(講評)	予習	報告会の練習をする。			
			復習	報告会を振り返り学びを深める。			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	インターンシップ実習と発表の講評をおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：(○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、実技(80%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	授業時に必要に応じて随時紹介する。						
補足事項							

科目名	ボランティア活動		単位数	2	授業時間数	90	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	CAE3212		授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	実際のボランティア活動を通して、人と人のつながり、地域社会への参加を経験し、ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について学びます。また、ボランティア活動を通して、将来の職業選択へのヒントを得たり、社会で働く上でのマナーや知識を身に付けることを目指します。							
到達目標	1. ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について説明することができる 2. 社会活動に参加する上での基本的なマナー、知識を身に付けている 3. 活動計画や日誌、報告書等を作成する、文書作成能力を身に付けている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3、4 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	社会貢献活動の意義（講義）	予習	社会貢献とは何を指すか調べる			
				復習	自身のボランティア経験を振り返り、活動の意義を考える			
	第3回	内容	ボランティアの歴史と現状（講義）	予習	日本のボランティアの制度について調べる			
				復習	所沢で行われているボランティア活動を調べて、概要を読む			
	第4回	内容	基本的マナー（講義）	予習	電話のかけ方を調べる			
				復習	自身の服装、言葉遣い等を見直し、改善する			
	第5回	内容	活動先の決定	予習	興味のある分野のボランティア活動について調べておく			
				復習	実習先に連絡する			
	第6回	内容	活動計画の作成	予習	活動内容について整理しておく			
				復習	計画を作成し、提出する			
	第7回	内容	ボランティア活動①	予習	活動の内容を改めて確認する			
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する			
	第8回	内容	ボランティア活動②	予習	活動の内容を改めて確認する			
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する			
第9回	内容	ボランティア活動③	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第10回	内容	ボランティア活動④	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第11回	内容	ボランティア活動⑤	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第12回	内容	報告会の準備	予習	日誌の内容をまとめておく				
			復習	発表資料を作成し、提出する				
第13回	内容	報告会（発表）	予習	発表の練習をする				
			復習	自身の発表内容を振り返る				
第14回	内容	実習日誌の作成	予習	実習の記録と報告会の内容をまとめておく				
			復習	全体としての実習記録を作成し、提出する				
第15回	内容	実習日誌の作成②	予習	教員からのフィードバックを受けて修正する				
			復習	実習記録の最終版を提出する				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	各自のボランティア活動に合わせて、適宜フィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（35%）、作品・発表（35%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	指定しません。必要に応じて資料を配布します							
参考文献	指定しません。必要に応じて授業内で指示します							
補足事項	活動先との日程に合わせて、授業の曜日や時限が前後する可能性があります。個別に相談して決定します。							

科目名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	きたの いう 北野・伊藤
ナバリングコード	CAE3213	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。宿題として、毎回「気づきノート」の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。						
到達目標	1. 企業の職種、業種を理解している。 2. 企業の人材採用方針について理解している。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識している。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3, 4)						
授業計画	第1回	内容	学長講話	予習	シラバスを読んでおくこと。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第2回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第3回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第4回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第5回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第6回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第7回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第8回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
第9回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第10回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第11回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第12回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第13回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第14回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第15回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題(気づきノートの作成)などを通じて学習内容の理解増進を図ります。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(90%) 作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【課題提出状況】(10%)						
教科書	特にしてしません。						
参考文献	特にありません。						

補足事項

毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。

科目名	観光学総論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	観光は、物販売り上げ、雇用など地域を元気にし、経済効果が大きい、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたいなどの思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到達目標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人観光客）への取り組みについて、語る事ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義についてまとめる	
	第2回	内容	観光とは何か。観光が重視される背景は何か	予習	なぜ、観光が重視されるのか調べておく	復習	授業内容を整理し、観光の役割をまとめておく	
	第3回	内容	江戸時代のお伊勢参りから始まる観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく	復習	近年の温泉ブームを含む観光の歴史をまとめる	
	第4回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは	予習	産業界における観光業について調べておく	復習	観光と他産業との比較をまとめておく	
	第5回	内容	観光における日本の強みとは何か。温泉やおもてなし。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく	復習	自分なりの日本の観光の強みをまとめておく	
	第6回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光立国について調べておく	復習	授業に基づき海外の観光業の現状をまとめる	
	第7回	内容	観光産業① 宿泊業からみた観光	予習	コロナ禍対応を含め宿泊業について調べておく	復習	授業に基づき宿泊業の課題をまとめておく	
	第8回	内容	観光産業② 交通事業者＝鉄道、航空。旅行会社	予習	交通、旅行会社について調べておく	復習	交通、旅行会社の課題をまとめておく	
	第9回	内容	観光産業③ テーマパークと遊園地 イベントとの重複	予習	テーマパークと遊園地の現状を調べておく	復習	TDLがなぜ人気なのかなどを考えてみる	
	第10回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく	復習	インバウンドがなぜ重要かまとめておく	
	第11回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の推移。	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく	復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめておく	
	第12回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく	復習	ガイドブックから SNS への変化をまとめておく	
	第13回	内容	地方創生と観光	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく	復習	観光で成功している地域をまとめておく	
	第14回	内容	観光と IT 化 人手不足対応の切り札となるか	予習	IT 化は人手不足解消につながるかを調べておく	復習	観光分野の IT 化の成功事例をまとめておく	
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく	復習	資料をもとに発表する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ 、する／（○）しない） 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布、ウェブの関連サイトを紹介する							
参考文献	『令和5年版 観光白書』 観光庁編。『ディズニーランドの秘密』 有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』 よみうりランド、神崎公一編 中央公論事業出版社							
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。							

科目名	観光地理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3221	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	国内外の観光地の地理を把握し、その特徴、なぜ人気となっているか、課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。						
到達目標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材に必要な、地理的知識をアピールできる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1.2.3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か、	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる		
	第2回	内容	地域観光と交通機関の役割、	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく		
				復習	地域にとっての交通の重要性をまとめる		
	第3回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく		
				復習	大都市の利便性と課題についてまとめる		
	第4回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく		
				復習	遠隔地の観光地は不利か有利かをまとめる		
	第5回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく		
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる		
	第6回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	人気の中国の観光地について調べておく		
				復習	日本とこれらの地域の関係をまとめる		
	第7回	内容	韓国、台湾などの観光地の特色	予習	各地域の代表的観光地について調べておく		
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる		
	第8回	内容	東南アジア タイ、ベトナム、マレーシアなど	予習	東南アジア各国の観光について調べておく		
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめておく		
第9回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく			
			復習	全国のアニメの聖地についてまとめる			
第10回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部について調べておくこと			
			復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる			
第11回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園	予習	アメリカの自然について調べておくこと			
			復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる			
第12回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく			
			復習	カナダと自然、都市についてまとめる			
第13回	内容	ヨーロッパ各国の地理的特色と観光	予習	英仏独伊などの観光について調べておく			
			復習	日本とこの地域の関係をまとめる			
第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1-6回の講義の発表資料を作成しておく			
			復習	ディスカッションした内容を整理しておく			
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	7-13回の講義の発表資料を作成しておく			
			復習	ディスカッションした内容を整理しておく			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）						
教科書	使用しない。必要に応じて資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する。						
参考文献	『令和5年版 観光白書』（観光庁編） 世界地図帳（出版社はどこでも可）						
補足事項	課題作文（200字以上）は毎回提出する。取り上げる地域ごとの地図を持参すること。ウェブサイトでも可。						

科目名	実用英語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	<p>本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。</p> <p>TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。</p> <p>また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。</p>							
到達目標	<p>1. 英語の基礎力を身につけている。(語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる)</p> <p>2. ビジネス英語における基本的なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3. ビジネス英語の文章で大意を理解することができる。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	TOEIC の試験概要について確認する			
	第2回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第3回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「名詞」について学んだことを理解する			
	第4回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第5回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する			
	第6回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第7回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する			
	第8回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
第9回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「副詞」について学んだことを理解する				
第10回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第11回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
第12回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第13回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
第14回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第15回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却・解説を行う。							
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない</p> <p>成績評価の方法： 授業内小テスト（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）</p>							
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』(Robert Hickling、金星堂)							
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布する。）							
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。							

科目名	観光英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	本授業では、海外からの顧客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目指した英会話を学ぶ。 近年のグローバル化の進展に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到達目標	1. 外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 2. 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 3. 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1, 2, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する			
	第2回	内容	Unit 1. Transportation	予習	教科書の交通に関する語の意味とICカードについての説明文について調べておく			
				復習	交通についての会話文を音読する			
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する			
	第4回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルの施設に関する会話を音読する			
	第5回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる			
				復習	道案内の会話を音読する			
	第6回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる			
				復習	観光案内に関する会話を音読する			
	第7回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる			
				復習	日本の食事の案内をする会話を音読する			
	第8回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	日本料理の説明をする会話を音読する			
	第9回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる			
				復習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する			
	第10回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する			
	第11回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する			
	第12回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる			
				復習	日本の年間行事を説明する会話を音読する			
	第13回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本のお土産を説明する会話を音読する			
	第14回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる			
				復習	お客様が病気をされた際の会話を音読する			
	第15回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる			
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する			
	予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法：授業内小テスト(60%)、授業内発表(20%)、授業態度【積極的参加】(20%)							
教科書	『Hospitality on the Scene』(上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂)							
参考文献	なし(必要な際はプリントを配布する。)							

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科目名	エアライン英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。							
到達目標	1. 英語での自己表現が、感情豊かにできる 2. 英語での質疑応答ができる 3. エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション Public Announcements (ウェルカムアナウンス)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	エアラインでよく使われる用語と機内アナウンスの言い回しを覚える			
	第2回	内容	Finding seat (お客様をお座席にご案内する)	予習	機内のご案内用語の意味を調べてくる			
				復習	お客様のご案内の言葉をスムーズに言えるようにする			
	第3回	内容	Baggage in the aisle (お客様の手荷物の対応)	予習	お客様の手荷物に関わる単語の意味を調べる			
				復習	手荷物対応の場面を対応できるように練習する			
	第4回	内容	Before take off (離陸前の安全確認のやり取り)	予習	離陸前のお客様対応の専門用語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前のご案内の会話をスムーズに言えるように練習する			
	第5回	内容	Before take off Champagne Service (離陸前のシャンパンサービス)	予習	離陸前の飲み物サービスにかかる単語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前の飲み物対応をスムーズに言えるように練習する			
	第6回	内容	Welcome Announcement (離陸直後のウェルカムアナウンス)	予習	アナウンスで使われている単語の意味を調べてくる			
				復習	ウェルカムアナウンスをスムーズに言えるように練習する			
	第7回	内容	Liquor & Meal Service (お食事前のお飲み物サービス)	予習	機内サービスのお飲み物を英語で言えるようにする			
				復習	機内のお飲み物サービスの問答をスムーズに言えるように練習する			
	第8回	内容	Entrée Order (お食事サービス)	予習	お食事メニューに出てくる単語の意味を調べる			
				復習	ステーキの焼き加減をうかがうフレーズをスムーズに言えるように練習する			
第9回	内容	Special Meal (特別食のサービス)	予習	特別食の種類について調べてくる				
			復習	特別食の対応がスムーズにできるように練習する				
第10回	内容	Inflight Entertainment (機内のエンターテインメントサービス)	予習	機内のエンターテインメントサービスの種類について調べる				
			復習	エンターテインメントサービスの説明がスムーズに言えるように練習する				
第11回	内容	Children's Entertainment (お子様のエンターテインメントサービス)	予習	お子様用のエンターテインメントの種類を調べる				
			復習	お子様への対応をスムーズに言えるように練習する				
第12回	内容	Route Information (飛行ルートのご案内)	予習	指定された飛行ルートの観光案内ができるように調べる				
			復習	飛行ルートのご案内がスムーズにできるように練習する				
第13回	内容	In flight sales (機内販売)	予習	機内免税サービスの取り扱い商品を調べる				
			復習	機内販売サービスをスムーズにご案内できるように練習する				
第14回	内容	Arrival Information アナウンス (到着のアナウンス)	予習	指定された現地の案内ができるように気候等について調べてくる				
			復習	到着の現地案内ができるように練習する				
第15回	内容	総仕上げ	予習	これまでに習ったアナウンスを発表できるように練習する				
			復習	習った英単語を再度学習する				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性】(20%)							

教科書	『書名』（著者名、出版社名）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
補足事項	授業で学んだ英単語を、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。

科目名	基礎韓国語 (旧「韓国語実用会話」)		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	日本には他国から来た旅行者や移住者が毎年増えつつあります。他国の人々と共に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードになっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化の比較や異なる面白い文化を楽しく学びます。さらに多くの人々から愛されているドラマや音楽などを接しながらヒアリングや会話の練習、文法を学びます。コロナ感染症の状況を確認しながらリトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などでハングルの文字を身近に体験します							
到達目標	1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字を読むことができる。 2. 聞いた単語や簡単な文章を書くことができる。 3. 挨拶や簡単な会話ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1, 3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス(ハングルの成り立ちについて)	予習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む(p6~p7)			
				復習	子音と母音の役割について復習する。			
	第2回	内容	ハングルの発音(子音)を学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと(p12)			
				復習	子音と音表記を10回ノートに書く。			
	第3回	内容	ハングルの発音(母音)	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	基本母音10個と音表記を10回ノートで書く			
	第4回	内容	ハングル(パッチム)について学ぶ	予習	パッチムの音表記を覚えて置くこと			
				復習	パッチムの音表記を5回書く。			
	第5回	内容	子音と母音、パッチムの振り返り学習	予習	ハングル表を3回読んで置くこと			
				復習	ハングル表を5回ノートで書く。			
	第6回	内容	二重母音(合成母音)について学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	二重母音11個の音表記と一緒に覚える。			
	第7回	内容	発音の練習—簡単な単語を読む	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	単語の音表記を書いて声を出して読む			
	第8回	内容	ハングルのスマートフォンで入力してみよう。	予習	テキストp24-p25を読んで置くこと			
				復習	単語をスマートフォンで入力して調べる。			
	第9回	内容	教室でよく使う言葉について学ぼう	予習	テキストp30を読んで置く。			
				復習	単語の基本形を覚えよう。			
	第10回	内容	挨拶の言葉について学ぼう	予習	テキストの裏の表紙に書いてある挨拶文を読んで置くこと。			
				復習	挨拶文を覚えて書いてみる。			
	第11回	内容	自己紹介—丁寧な言葉を学ぼう。	予習	テキストp31を読んで置くこと			
				復習	簡単な自己紹介文についてテキストを参考にして作成してみる。			
	第12回	内容	かしこまった表現について学ぼう	予習	テキストp36を読んで置くこと			
				復習	「かしこまった表現」を振り返って復習する。			
	第13回	内容	これは何ですか—指示代名詞について学ぼう	予習	テキストp44を読んで置くこと。			
				復習	配布した資料をみて指示代名詞を覚えよう。			
	第14回	内容	指示代名詞を使って会話の文書を作ってみよう。	予習	配布した資料をノートで書いて置こう。			
				復習	指示代名詞を使った文章を作ってみる。			
	第15回	内容	これまでのまとめ	予習	かしこまった表現、指示代名詞の資料を読んで置く。			
				復習	動詞や形容詞の基本形をかしこまった表現に活用する。			
予習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストは、赤ペンでチェックして返します。自分の課題や小テストを必ず確認してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(30%)、作品・発表(20%)、授業態度【小テスト+積極的な授業参加】(50%)							

教科書	最新、チャレンジ！韓国語（金順玉・阪堂千津子、白水社）
参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編（hana 編集部、HANA）
補足事項	レポートは2回提出します。

科目名	応用韓国語 (旧「韓国語実用会話」)		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	異文化体験やコミュニケーションを積極的に取りながら実践的な韓国語学びます。映像を通して最近のトレンドファッションや化粧スタイルなど、若い人が使っている用語を学び、異文化を体験します。感染症に気を付けながら、リトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などを見学しながらハングルの文字を身近に体験します。							
到達目標	1. ハングルの文字に親しみ、自然に読み書きができる。 2. 日常会話がスムーズにできる。 3. 動詞や形容詞の基本形を活用し、丁寧な表現文書を書くことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,3,4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス(前学期の振り返り)	予習	丁寧な表現についてテキストを読んで置くこと(p30~p36)			
				復習	指示代名詞を覚えて置く。			
	第2回	内容	位置や方向を現す言葉について学ぼう	予習	テキストp42を確認して置くこと			
				復習	位置を表す言葉や方向を現す言葉を覚えておこう。			
	第3回	内容	数詞について学ぼうー「漢数詞」	予習	テキストp56~p58を読んで置くこと			
				復習	電話番号やカレンダーの読み方を覚えよう。			
	第4回	内容	数詞について学ぼうー「固有数詞」	予習	テキストp56~p58を読んで置くこと			
				復習	モノの数え方や単位、時計の読み方を覚えよう。			
	第5回	内容	要求形の尊敬語の作り方を学ぼう	予習	テキストp49を読んで置くこと			
				復習	パッチムがある時とない時の違いを覚えよう。			
	第6回	内容	助詞や疑問詞について学ぼう	予習	テキストp50を覚えて置くこと			
				復習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む(陽性母音・陰性母音を覚えよう。)			
	第7回	内容	ちとけた表現ーパッチムない時	予習	テキストp53を読んで置くこと			
				復習	テキストp53の単語を覚えよう。			
	第8回	内容	うちとけた表現ーパッチムがある時	予習	テキストp54を読んで置くこと			
				復習	母音や終子音の不規則変則を理解して置く。			
	第9回	内容	日曜日は何をしますか。	予習	テキストp51を読んで置くこと			
				復習	テキストのp58の曜日を覚えよう。			
	第10回	内容	週末には何をしましたか。ー過ぎたことを表現する時ー	予習	テキストp65を読んで置くこと			
				復習	テキストp67の単語を覚えて置くこと			
	第11回	内容	過去形の作り方ーパッチムがある時とない時の作り方について	予習	テキストp67を読んで置くこと			
				復習	テキストp70を過去形に直して読んでみる。			
	第12回	内容	韓国ドラマの特徴や文化について調べてみよう。「生活でよく使う言葉を学ぶ」	予習	韓国ドラマについて調べて置くこと			
				復習	韓国ドラマから見えてくる家族関係について考えてみる			
	第13回	内容	韓国のYouTubeやドラマで現れるファッションや若い人の言葉について学ぼう	予習	韓国ドラマのトレンドについて調べて置く			
				復習	日常的によく使う言葉を覚えて置く。			
	第14回	内容	韓国の人気歌謡を選び、聞き取り練習をする。(歌詞を翻訳する)	予習	事前に選曲した歌の歌詞を読んで置く。			
				復習	単語を覚えて置く。(丁寧な表現に活用する)			
	第15回	内容	まとめー丁寧な表現や過去形を振り返る	予習	うちとけた表現、過去形の作り方を確認して置く。			
				復習	基本文法を活用して手紙を書いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストはチェックして返却します。必ず確認し、チェックした部分は繰り返し復習してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：レポート・課題(30%)、作品・発表(30%)、授業態度【小テスト+積極的授業参加】(40%)							
教科書	『最新チャレンジ!韓国語』(金順玉・阪堂千津子、百水社)							

参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編 (hana 編集部、HANA)
補足事項	さらに授業中に参考資料を配布します。ファイリングをして毎回持参してください。

科目名	中国語実用会話		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	やまぐち よし 山口 芳
ナバリングコード	TOS3215		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	中国語で簡単なコミュニケーションができるようになるために、中国語の基礎を身につけて、さらに中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。具体的には、日常生活の様々な場面を通じて、中国の人々の生活や中国の文化に触れながら講義を進めていく。							
到達目標	1. 中国語の発音（ピンイン）の読み方を身につけている 2. 基本的な文章（語順）を正しく組み立てることができる 3. それぞれの場面に適切なコミュニケーション能力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1, 2, 3, 4）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、中国について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	中国語の基本概念、発音の基本	予習	この科目の到達目標を確認しておく			
				復習	中国標準語の定義を理解する			
	第3回	内容	発音Ⅰ（単母音・子音1・声調）	予習	基本母音・子音・声調を確認しておく			
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を認めるようになるまで練習する			
	第4回	内容	発音Ⅱ（二重母音・子音2）、簡単な挨拶	予習	二重母音・子音を読んでおく			
				復習	ピンインのつづり規則①をまとめる、更に簡単な挨拶を暗記できるまで練習する			
	第5回	内容	発音Ⅲ（三重母音）、発音Ⅳ（鼻母音）、数字①	予習	三重母音・鼻母音を確認しておく			
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を認めるようになるまで練習する、更に数字を暗記できるまで練習する			
	第6回	内容	発音の復習、自分の名前の中国語読み、中国人の名前について	予習	中国語の発音を整理して・ピンインのつづり規則②をまとめる			
				復習	中国語の発音をまとめる、課題を作成する			
	第7回	内容	学習用品（文法項目：「是」の述語文・一般疑問文） グループワーク実施	予習	単語を読んでおく			
				復習	文型を整理して、課題を作成する			
	第8回	内容	自己紹介Ⅰ、発表（名前・身分・国籍）	予習	文型を確認しておく			
				復習	自己紹介ができるようになるまで練習する			
	第9回	内容	私達の学校（文法項目：形容詞述語文・省略疑問文）、中国の大学の紹介	予習	単語を読んでおく			
				復習	形容詞述語文を理解する			
	第10回	内容	物・学校についての評価（文法項目：主述述語文） グループワーク実施	予習	テーマについて確認しておく			
				復習	名前・身分・国籍・体調・学習状況などが答えられるようになるまで練習する			
	第11回	内容	数字②、日付・時刻の表現、量詞（助数詞）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく、常用量詞を読んでおく			
				復習	数字に関する表現をまとめる			
	第12回	内容	お金の表現（文法項目：名詞述語文）	予習	お金の表現を読んでおく			
				復習	名詞述語文・量詞の使い方を理解する			
	第13回	内容	食べ物・飲み物（文法項目：「動詞述語文」と「有」の述語文）、中国人の食事について	予習	単語を確認しておく			
				復習	文型を整理して、課題を作成する			
	第14回	内容	レストランで注文の仕方（反復疑問文・選択疑問文） グループワーク実施	予習	単語を暗記しておく			
				復習	会話文を空で言えるようになるまで練習する			
	第15回	内容	家族・住まい（文法項目：「在」の述語文・介詞「離」）	予習	文型を読んでおく			
				復習	文型を理解して、課題を作成する			
	第16回	内容	家族の紹介、発表（場所、人数、メンバー、学校からの距離、学校に通う利便さ）	予習	文型について確認しておく			
				復習	家族の紹介ができるようになるまで練習する			
	第17回	内容	食事（文法項目：完了相・助動詞「想」・介詞「從…到」）	予習	語順の再確認をしておく			
				復習	文型をまとめて、課題を作成する			
	第18回	内容	自分の一日、発表（起床から寝るまでの行動）	予習	単語・文型を確認しておく			
				復習	自分の一日の行動を中国語で発表できるようになるまで練習する			
	第19回	内容	アルバイト（文法項目：時量の表現） グループワーク実施	予習	単語・日付・時刻の表現を確認しておく			
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する			

	第20回	内容	職業・仕事（文法項目：介詞「在」） グループワーク実施	予習	会話文を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第21回	内容	旅行（1）（文法項目：過去の経験・介詞「給」）	予習	文型「完了相」について確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第22回	内容	旅行（2）（文法項目：「是…的」の構造文） グループワーク実施	予習	単語を暗記しておく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第23回	内容	車の運転（文法項目：助動詞「会、能、可以」）	予習	苦手の発音を練習しておく
				復習	会話文が流暢に読め、そして応用できるように練習する
	第24回	内容	中国語のDVD鑑賞と質疑応答	予習	学習された単語が流暢に読めるように練習する
				復習	DVDで聞き取れなかった単語を暗記しておく
	第25回	内容	今何をしていますか（文法項目：進行形・連動文）	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第26回	内容	趣味（文法項目：助動詞「喜歡」・動詞の重ね型） 漢詩・中国の歌の鑑賞	予習	会話文を読んでおく
				復習	漢詩を吟じることができ、そして自分の趣味について言えるように練習する
	第27回	内容	疑問詞のまとめ、文型の整理、会話文の作成	予習	疑問詞をまとめ・文型を整理しておく
				復習	作成された疑問文を練習する
	第28回	内容	自己紹介Ⅱ（200字程度）作文	予習	今まで発表された内容をもう一度確認しておく
				復習	自己紹介が発表できるように練習する
	第29回	内容	疑問詞の応用会話、発表会のリハーサル	予習	テキストの会話文が流暢に読めるように練習する
				復習	聞き取れていない疑問文をもう一度確認しておく
第30回	内容	総合復習、発表会、中国語のDVD鑑賞	予習	会話応用・最終の発表ができるように準備しておく	
			復習	良い点・改善点をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した課題を採点する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、発表（40%）、授業態度【積極的参加】（20%）				
教科書	カリキュラムに応じたオリジナルテキスト				
参考文献	『最新2訂版』中国語はじめての一步』（竹島 金吾監修、尹 景春・竹島 毅著 白水社） 『漢語口語速成（入門編）』（北京語言大学出版社）				
補足事項	毎回ポイントを説明し、繰り返し練習することによって覚えていく 毎回の内容を積み上げながら取り組むため、原則として欠席はしないようにすること				

科目名	エアライン実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナバリングコード	TOS3216		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業はじめとする仕事の現場で求められる、知識・適正と能力(美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心)を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到達目標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究			予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく	
					復習	この科目を通して習得・体得することを理解する		
	第2回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー			予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる	
					復習	日常生活のマナーを実践しなくなった理由をまとめる		
	第3回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のホスピタリティ			予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す	
					復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える		
	第4回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解			予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味を調べる	
					復習	日々の行動から自己理解を深める		
	第5回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い			予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる	
					復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する		
	第6回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法			予習	言葉遣いの練習問題に取り組む	
					復習	習得した好印象の接客対応を身につける		
	第7回	内容	エアライン研究① ・国内航空会社・外資系航空会社の比較			予習	興味ある航空会社を調べる	
					復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる		
	第8回	内容	エアライン研究② ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表			予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる	
					復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる		
第9回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・機内サービスを実践する お食事サービス			予習	機内のお食事サービスについて調べる		
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
第10回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成② ・グラウンドホステスの仕事研究			予習	グラウンドホステスの仕事について調べる		
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
第11回	内容	チームの中でホスピタリティを発揮する ・チームワークの重要性・必要な要素・チームビルディング			予習	チームワークとは何かを調べてまとめる		
				復習	習得したチームビルディングのスキルを実施する			
第12回	内容	エアライン適正開発 ・CAの仕事研究			予習	CAの仕事について調べる		
				復習	CAの立ち居振る舞いを実践する			
第13回	内容	ホスピタリティ・コミュニケーション ・ホスピタリティ溢れる自分づくり			予習	これまでホスピタリティに溢れる行動を実践してきたことをまとめる		
				復習	取り組みたいホスピタリティ行動について実践する			
第14回	内容	エアライン適正開発② ・機内アナウンス実践 (演習)			予習	機内アナウンスパターンの練習をしていく		
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
第15回	内容	エアライン適正開発③ ・好印象な接客対応を体得する (演習)			予習	授業で習ったホスピタリティ		
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性・協調性】(20%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名)							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 『月刊 エアステージ』(イカロス出版)							

補足事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。
------	--

科目名	ファッションコーディネート	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしば 大柴 みすず
ナンバリングコード	FAS3221	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、さまざまな商品の中から複数アイテムをどのように組み合わせればトータルに素敵に着こなすことができるのか、また自分らしさを表現できるのかを考え、演出する方法を習得することを目指します。						
到達目標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく	復習	この授業で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	戦後のファッション史	予習	戦後のファッションを調べる	復習	戦後のファッション史を理解する
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	ファッション情報とSDGsを調べる	復習	今シーズンのファッション情報を収集する
	第4回	内容	色の感情効果・ファッションのイメージワード	予習	イメージワードについて調べる	復習	イメージワードを理解する
	第5回	内容	イメージによるコーディネート 色の分類、色の心理的効果 [発表]	予習	自分のイメージをつかみ必要なものを準備する	復習	色について理解する
	第6回	内容	メイクの基礎と笑顔作り (鏡持参)	予習	必要な道具を準備する	復習	普段のメイクを見直す
	第7回	内容	素材の基礎知識・柄の種類	予習	アパレル商品の素材を調べる	復習	素材、柄について理解する
	第8回	内容	色(カラー)の基礎知識、配色の基本	予習	配布プリントを読んでおく	復習	カラーについて理解する
	第9回	内容	パーソナルカラー1 (グループワークと発表)	予習	必要な道具を準備する	復習	授業内容を確認し、整理する
	第10回	内容	パーソナルカラー2 (グループワークと発表)	予習	必要な道具を準備する	復習	授業内容を確認し、整理する
	第11回	内容	マイコーディネート1 [発表]	予習	必要な道具を準備する	復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる
	第12回	内容	マイコーディネート2 [発表]	予習	必要な道具を準備する	復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる
	第13回	内容	フォーマルウェア・マナーの知識 (昼、夜、ウェディング、ブラックフォーマル)	予習	フォーマルウェアについて調べる	復習	内容を復習する
	第14回	内容	Z世代とAI [ミニテスト]	予習	用語を調べる	復習	実際に足を運んでみる
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく	復習	内容を復習する
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、発表（50%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（30%）						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。						
参考文献	授業の中で随時、紹介します。						
補足事項							

科目名	ファッション文化論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナンバリングコード	FAS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	舞台衣装はかつて、各種の演劇やコンサートなどで使用される特別な衣装と考えられてきたが、現在では舞台衣装の一般ファッションへの影響や、時代風潮の舞台衣装への影響が補完関係になりつつある。本授業は文化としての舞台衣装の特徴と推移を考察し、明らかにすることを目的とする。							
到達目標	1. ファッション文化に対して理解している。 2. 舞台衣装とファッションの関連について理解している。 3. 日本の伝統文化と現代文化に対する理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1)							
授業計画	第1回	内容	授業の説明(ガイダンス)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	文化としての舞台(ステージ)衣装	予習	舞台衣装について調べる			
				復習	文化と舞台衣装の関係を理解する			
	第3回	内容	演歌歌手の舞台衣装1(着物)の歴史と現在	予習	演歌歌手の着物について調べておく			
				復習	着物の魅力を理解する			
	第4回	内容	演歌歌手の舞台衣装2(洋服)の歴史と現在	予習	演歌歌手の洋服を調べておく			
				復習	日本の歌と衣装の変遷を理解する			
	第5回	内容	男性演歌歌手の舞台衣装	予習	男性演歌歌手の舞台衣装を調べておく			
				復習	男性演歌歌手の舞台衣装の魅力を理解する			
	第6回	内容	クラシックからラップまでのダンス衣装	予習	ダンス衣装について調べておく			
				復習	ダンス衣装について理解する			
	第7回	内容	舞台衣装と歌	予習	舞台衣装と歌との関連を調べておく			
				復習	衣装と舞台効果の関係を理解する			
	第8回	内容	舞台衣装とドラマ	予習	ドラマで印象的だった衣装を調べておく			
				復習	出演者と衣装の関連を理解する			
	第9回	内容	舞台衣装のプロデュース	予習	プロデュースとは何かを調べる			
				復習	プロデューサーの役割を理解する			
	第10回	内容	舞台衣装のコーディネーター	予習	好みのコーディネーターを調べておく			
				復習	コーディネーターについて理解する			
	第11回	内容	舞台衣装とカラーリング	予習	カラーリングについて調べておく			
				復習	カラーリングについて理解する			
	第12回	内容	舞台衣装の一般ファッションへの影響	予習	一般人への影響事例を調べておく			
				復習	一般ファッションへの影響力を理解する			
	第13回	内容	舞台衣装の多様化	予習	ファッションの多様性を調べておく			
				復習	舞台衣装にも多様性があることを理解する			
	第14回	内容	舞台衣装と時代背景	予習	舞台衣装と時代背景について調べておく			
				復習	舞台衣装と時代背景の関連性を理解する			
	第15回	内容	振り返り	予習	プリント、ノートを整理しておく			
				復習	これまでの内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後クラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30%)、作品・発表 (30%)、授業態度【積極的参加、出席状況】(40%)							
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
補足事項								

科目名	イベント・プランニング		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会、万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについて企画の立て方やPRの具体的手法などを学ぶ。							
到達目標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 身近なイベントについて企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2.3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義について理解する	
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類、嵐のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく	復習	嵐のツアーの効果について理解する	
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどの背景	予習	観光振興とイベントの関係性を調べておく	復習	具体的事例をもとに観光イベントを理解する	
	第4回	内容	観光業の実態。集客の切り札としてのイベント	予習	観光業の実態について調べておく	復習	観光関連イベントの重要性を理解する	
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント 嵐、韓流ドラマの影響	予習	ファンツーリズムについて調べておく	復習	ファンツーリズムの実態を理解する	
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニング	予習	ロケ誘致について調べおく	復習	ロケ誘致がいかに効果であるかを理解する	
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致	予習	国際的イベントについて調べておく	復習	国際的イベントの効果について理解する	
	第8回	内容	7回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する	
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく	復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する	
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する	
	第11回	内容	インバウンド向けイベント・プランニング	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する	
	第12回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画	予習	交通機関のイベントについて調べておく	復習	交通機関のイベント企画を理解する	
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく	復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する	
	第14回	内容	イベントの課題、集客失敗と地元への影響(ゴミ、渋滞)	予習	イベントの課題について調べておく	復習	課題解決について考え、理解する	
	第15回	内容	14回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授Googleクラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(40%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的発言、出席状況】(30%)							
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する。関連ウェブサイトを紹介する。							
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会							
補足事項	課題作文(200字以上)は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。							

科目名	イベント・マネジメント	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	FAS3213	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	イベントの企画、計画から実施まで適切な管理が必要である。多くのスタッフを動かし、安全に運営することや収支計算をきちんと行つたうえで、集客や販売促進につながる企画にする。そのための実例を学び、理解を深める。、コロナ禍収束に伴う、観光イベントを中心としてマネジメントについても学ぶ。						
到達目標	1. イベントを企画し、成功するための計画を立てることができる 2. イベントの安全管理、集客効果の具体的方法を提案できる 3. イベントのPR活動、メディア対策について理解している						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2.3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方の説明	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業の全体像をつかむ		
	第2回	内容	イベントの立案から実施までの流れ	予習	イベント立案の流れを調べておく		
				復習	立案から実施までの流れを理解する		
	第3回	内容	イベント開催に伴う問題点、安全性や交通渋滞、ゴミ問題	予習	イベント開催に伴う問題点を調べておく		
				復習	どんな問題点があるか、その解決法を理解する		
	第4回	内容	イベントの広報・PR活動	予習	イベントの広報・PR活動を調べておく		
				復習	イベントの広報・PR活動の実態を理解する		
	第5回	内容	イベントと効果的なメディア対策	予習	イベントのメディア対策について調べておく		
				復習	イベントのメディア活用方法を理解する		
	第6回	内容	イベントの問題発生と管理対策	予習	イベントの危機管理対策について調べておく		
				復習	危機管理発生時の対応を理解する		
	第7回	内容	地域を巻き込むイベントの可能性	予習	観光関連の地域イベントについて調べておく		
				復習	地域イベントの成功例を学び、理解する		
	第8回	内容	外国人に人気なアニメやコスプレなどイベント管理	予習	インバウンド向けイベントについて調べておく		
				復習	インバウンド向けイベントの重要性を理解する		
第9回	内容	イベント成功と運営スタッフの管理	予習	イベントのスタッフ管理について調べておく			
			復習	スタッフの優秀さが成功のカギだと理解する			
第10回	内容	イベント運営のノウハウ、遊園地担当者からの報告	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく			
			復習	レジャー施設イベント立案について理解する			
第11回	内容	販売促進のためのマーケティングイベント	予習	マーケティングイベントについて調べておく			
			復習	マーケティングイベントを理解し、立案する			
第12回	内容	環境問題とイベント	予習	イベントと環境問題について調べておく			
			復習	イベントと環境問題の重要性を理解する			
第13回	内容	コロナ禍で増えたオンラインイベントの課題	予習	オンラインイベントとは何かを理解する			
			復習	オンラインイベントを立案できるようにする			
第14回	内容	ユニバーサルイベントの立案と管理	予習	ユニバーサルイベントについて調べておく			
			復習	ユニバーサルイベントの課題について理解する			
第15回	内容	14回授業までを基にしたプレゼンテーション	予習	授業をもとにしたプレゼン資料を作っておく			
			復習	プレゼンを参考に問題点を検討する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業の進行中に質疑応答を行い、授業の理解度を深めます。第9回と第15回でプレゼンを行い、振り返りをします。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(30%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的参加、出席状況】(40%)						
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布します。関連ウェブサイトを紹介する						
参考文献	『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会 『イベントの仕事で働く』（岡島竜美、ペリかん社）、『よみうりランド70年史』（よみうりランド 神崎公一編、中公事業出版社）						
補足事項	毎回の課題作文（200字）以上を提出してもらいます。課題作文は文章力アップに役立つことを理解し、積極的に書いてください。						

科目名	ショップ・プレゼンテーション		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしば 大柴 みすず
ナバリングコード	FAS3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	ショップでは、ただ商品を並べるだけでなく、商品やショップのコンセプトをアピールしてお客様をひきつけ、買い物をするためにわかりやすく快適な環境を作る必要があります。この授業では、お客様にとって快適なショップとは何かを考え、基礎的な陳列や展示方法、POP、ラッピングの技術を習得することを目指します。							
到達目標	1. 快適で魅力的なショップとは何かを理解している 2. ショップ演出の基礎的な知識、技術を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ショップ演出の重要性、店作りに必要なもの（グループワーク）	予習	シラバスを読んでおく	復習	この授業で習得するべき内容を理解する	
	第2回	内容	購買のしかたと購買心理、 アイドマ・アイサス、人間の視覚と行動特性	予習	購買心理について調べる	復習	行動特性についてまとめる	
	第3回	内容	アパレル商品の陳列の基本1 グルーピングとゾーニング	予習	陳列について調べる	復習	陳列方法を理解する	
	第4回	内容	アパレル商品の陳列の基本2（グループワークと発表）	予習	陳列の種類を調べる	復習	メリット、デメリットを理解する	
	第5回	内容	基本構成の種類（グループワークと発表）	予習	基本構成について調べる	復習	実際にショップを見てみる	
	第6回	内容	色（カラー）の基本1	予習	色について調べる	復習	色について理解する	
	第7回	内容	色（カラー）の基本2（グループワークと発表）、ミニテスト	予習	配色について調べる	復習	配色の基本を理解する	
	第8回	内容	POPの役割、POP文字の書き方、POP制作、（発表、提出）	予習	POPのデザイン、キャッチコピーを考える	復習	ショップの様々なPOPに注目してみる	
	第9回	内容	ラッピング 斜め包み、合わせ包み、簡単リボンの結び方	予習	必要な道具等を準備する	復習	実生活で実践する	
	第10回	内容	学外見学（SC/百貨店等のディスプレイ・コーディネート見学）	予習	見学場所について調べる	復習	見学した内容を整理する	
	第11回	内容	学外見学（SC/百貨店等のディスプレイ・コーディネート見学） 店舗の比較	予習	レポートをまとめる作業を考えておく	復習	店舗による違いを理解する	
	第12回	内容	学外見学まとめ（グループワークと発表）レポート提出	予習	レポートにまとめる準備をする	復習	レポートにまとめる	
	第13回	内容	ディスプレイ実習1（グループ決定とメインVP計画）	予習	配布プリントを読んでおく	復習	効果的なVPを理解する	
	第14回	内容	ディスプレイ実習2（グループごとにメインVPの発表）	予習	必要なものを準備する	復習	実習を振り返り、考えをまとめる	
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ（グループワークと発表）	予習	配布プリントを整理しておく	復習	内容を復習する	
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、レポート・課題（30%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（30%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
補足事項	一部、教材費として 学生負担があります。							

科目名	カラーコーディネート	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	FAS3223	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	実社会における様々な分野で活躍する「カラーコーディネーター」について、色彩に関する専門知識を身に付け、色彩検定の資格取得を目指し、どのような職種においてもクリエイティブな仕事に対応できる技術能力を身につける。						
到達目標	1. 文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2. 文部科学省認定の色彩検定2級の資格取得のための予備知識の習得の能力がついている。 3. 実習課題の制作提出がされている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、3 ）						
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）A課題配布	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる		
				復習	配布された資料を熟読し理解を深める		
	第2回	内容	基本講習1（色のはたらき・光と色Ⅰ）	予習	次回講習1項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-1課題を仕上げる		
	第3回	内容	基本講習2（光と色Ⅱ）	予習	次回講習2項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-2課題を仕上げる		
	第4回	内容	基本講習3（色の表示）	予習	次回講習3項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-3課題を仕上げる		
	第5回	内容	基本講習4（色彩心理）	予習	次回講習4項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-4課題を仕上げる		
	第6回	内容	基本講習5（配色調和）	予習	次回講習5項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-5課題を仕上げる		
	第7回	内容	基本講習6（配色イメージ）	予習	次回講習6項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-6課題を仕上げる		
	第8回	内容	基本講習7（ファッション）	予習	次回講習7項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-7課題を仕上げる		
第9回	内容	基本講習8（インテリア）	予習	次回講習8項目について教科書を熟読する			
			復習	出題されたA-8課題を仕上げる			
第10回	内容	基本講習9（慣用色名・ユニバーサルデザイン）	予習	次回講習9項目について教科書を熟読する			
			復習	出題されたA-9課題を仕上げる			
第11回	内容	課題制作1（B課題のプランニング・制作準備）	予習	配布された課題Bの配色案をまとめる			
			復習	課題Bの制作プランシートを仕上げる			
第12回	内容	課題制作2（B課題制作実習）	予習	課題Bのプランに基づき素材を準備する			
			復習	課題B作品の写真を提出する			
第13回	内容	色彩検定対策講習Ⅰ（模擬試験）	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する			
			復習	模擬試験結果を自己採点し弱点を把握する			
第14回	内容	色彩検定対策講習Ⅱ	予習	3級と2級の違いを理解しておく			
			復習	本試験に向けて不明点を確認しておく			
第15回	内容	総評・まとめ	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
			復習	本試験に向けて2・3級の要点を整理する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	完成し提出した課題を添削し、個々にその仕上がりについて面談でコメントする併せてGoogle Classroomを用いてフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、授業態度【静粛実直】（10%）						
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』（2020年改訂版）公益社団法人 色彩検定協会、及び『新配色カード199a』（日本色研事業株式会社）						
参考文献	『インターネット』により参考資料各種						
補足事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入する事を推奨する。						

科目名	Webデザイン		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	Webを活用した情報発信(プロモーションやマーケティングなど)は、ビジネスのみならず個人においても増えている。この講義ではWebページを制作するためのHTML(ページ構造)とCSS(スタイルデザインの定義)を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Webデザインの基礎知識と技術を身につけていく。							
到達目標	1. HTMLを理解して、Webページを作成できる 2. CSSを理解して、Webページにデザインを施すことができる 3. HTMLとCSSを駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)							
授業計画	第1回	内容	Webデザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Webページ制作の流れ	予習	Webページとは何か調べる			
				復習	Webページ制作の手順をまとめる			
	第3回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し	予習	HTMLについて調べる			
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する			
	第4回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える			
				復習	ファイル参照を理解する			
	第5回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる			
				復習	tableタグを整理しておく			
	第6回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる			
				復習	課題HTML部分を完成させる			
	第7回	内容	CSS① HTMLとのリンク	予習	HTMLとCSSの関連性を調べる			
				復習	HTMLとCSS作成手順を整理する			
	第8回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS記述方法を確認しておく			
				復習	CSS記述方法を理解する			
第9回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	paddingタグとmarginタグの違いを調べる				
			復習	paddingタグとmarginタグを理解する				
第10回	内容	CSS④ HTMLのグループ化・配置	予習	divタグについて調べる				
			復習	idとclassの違いを理解する				
第11回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく				
			復習	課題CSS部分を完成させる				
第12回	内容	ページレイアウト	予習	idとclassの必要性を考える				
			復習	ページレイアウトの仕方を整理する				
第13回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる				
			復習	インラインフレームについてまとめる				
第14回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる				
			復習	課題全ページを完成させる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	HTMLとCSSについてまとめる				
			復習	HTMLとCSSを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業内で具体的に内容を示し解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、実技(60%)、授業態度【積極的参加】(20%)							
教科書	『情報演習35 ステップ30 HTML5 & CSS3 ワークブック 第2版』(相澤裕介、カットシステム)							
参考文献	『作りながら学ぶHTML/CSSデザインの教科書』(高橋 朋代、SBクリエイティブ)							
補足事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。							

科目名	Webサイト管理演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	Webサイトの管理や運営について、理解を深めていく。特に利用者(ユーザ)がどれだけ快適に操作できるかというWebユーザビリティの視点をもち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティを捉えつつ、情報発信と管理の重要性を学習する。							
到達目標	1. Webサイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Webサイトの効果的デザイン・レイアウトを理解している 3. ユーザビリティの視点から、Webサイトのデザインを提案できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3)							
授業計画	第1回	内容	Webサイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Webユーザビリティについて調べる			
				復習	Webユーザビリティの事例をまとめる			
	第3回	内容	制作ツール① Web制作ソフト	予習	Web作成ソフトを調べる			
				復習	Web作成ソフトを使ってみる			
	第4回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる			
				復習	行間・文字間の重要性を考える			
	第5回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる			
				復習	グラフィックソフトを使ってみる			
	第6回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える			
				復習	ボタンを作成する			
	第7回	内容	ブランニング①ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える			
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める			
	第8回	内容	ブランニング②サイトマップと色彩設計	予習	Webカラーについて調べる			
				復習	サイトマップを作成する			
第9回	内容	ブランニング③ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる				
			復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる				
第10回	内容	CSSでレイアウト①インラインレベルとブロックレベル	予習	CSSを使った見出しのデザインを考える				
			復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する				
第11回	内容	CSSでレイアウト②ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSSを使ったボーダーデザインを考える				
			復習	ボックスのサイズ計算を理解する				
第12回	内容	CSSでレイアウト③背景画像・リンク	予習	CSSを使ったボタンのデザインを考える				
			復習	作成課題のリンク動作を確認する				
第13回	内容	動的サイト	予習	動的サイトについて調べる				
			復習	動的サイトの効果をまとめる				
第14回	内容	SEO対策	予習	SEOとは何か調べる				
			復習	SEO対策についてまとめる				
第15回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる				
			復習	課題の動作確認をする				
予習に要する学習時間：概ね 10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別対応する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、作品・発表(60%)、授業態度【積極的参加】(20%)							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	1. 「Webデザイン」を履修済みで、HTMLを理解していることが必要。 2. 「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、履修すること。							

科目名	Webデザイン演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	Web関連科目の総括として、各自テーマを決めてサイト制作を行う。ターゲット・コンセプト・目的を明確にして、自らの思い描くWebサイトを完成させる。制作の一連の流れ(企画、設計、制作、運営)を通して、表現力と技術力を高めていく。							
到達目標	1. 適切な表現で情報を発信できる 2. 利用する人の視点からデザインを考案できる 3. 作品を公開、運用できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3)							
授業計画	第1回	内容	Webサイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	企画案を作成する			
	第2回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う			
				復習	企画案を完成させる			
	第3回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる			
				復習	企画書を仕上げる			
	第4回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる			
				復習	画像編集する			
	第5回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する			
				復習	ページデザインを修正する			
	第6回	内容	Web用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく			
				復習	画像修正、編集を行う			
	第7回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える			
				復習	サイト構成を見直す			
	第8回	内容	コーディング (HTML) トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する			
				復習	トップページのHTMLを完成させる			
第9回	内容	コーディング (CSS) トップページのレイアウトを整える	予習	トップページのHTMLを完成させる				
			復習	トップページのCSSを完成させる				
第10回	内容	トップページのデザイン修正	予習	トップページのレイアウトを完成させる				
			復習	トップページの修正をする				
第11回	内容	コーディング (HTML) 下層ページの内容をマークアップ	予習	ヘッダーフッターの活用を考える				
			復習	下層ページのHTMLを完成させる				
第12回	内容	コーディング (CSS) 下層ページのレイアウトを整える	予習	下層ページのHTMLを完成させる				
			復習	下層ページのCSSを完成させる				
第13回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	リンクの動きを確認する				
			復習	レイアウトの見直しをする				
第14回	内容	文章の校正とデザイン修正	予習	文章の見直しをする				
			復習	デザインの修正を行う				
第15回	内容	サイトの公開と動作・表示確認	予習	各ブラウザでの表示を確認する				
			復習	ネット上での動作確認をする				
	予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント・アドバイス・評価は、個別対応する インターネット上で、履修者全員の作品公開を行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法： レポート・課題 (10%)、作品・発表 (70%)、授業態度【積極的参加】(20%)							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	1. 「Webサイト管理演習」の履修を終えていることが必要。 2. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取り組んでほしい。							

科目名	Webプログラミング		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3222		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本講義では、Webプログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Webページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。 それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Webプログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。							
到達目標	1. 「Webプログラミング」の概要を理解し、説明できる 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解し、説明できる 3. 簡単な「Webアプリケーション」を自ら制作し、表現できる 4. Webプログラミング技術に関する最新の知識を学修することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2・3）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・Webプログラミングの概要	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	本科目の目的を再確認する			
	第2回	内容	HTMLによるマークアップの方法	予習	HTMLを下調べしておく			
				復習	HTMLの記述方法をまとめておく			
	第3回	内容	CSSによるスタイリングの方法	予習	CSSを下調べしておく			
				復習	CSSの記述方法をまとめておく			
	第4回	内容	JavaScriptとは	予習	JavaScriptについて下調べしておく			
				復習	JavaScriptの記述方法をまとめておく			
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく			
				復習	出力方法について整理しておく			
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ入力を考える			
				復習	入力方法整理しておく			
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える			
				復習	計算機アプリをオリジナル化する			
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える			
				復習	時計アプリをオリジナル化する			
第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える				
			復習	占いアプリをオリジナル化する				
第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える				
			復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する				
第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える				
			復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する				
第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える				
			復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加				
第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の必要性について考える				
			復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する				
第14回	内容	図形を描画する	予習	図形描画アプリの活用について考える				
			復習	描画を用いたオリジナルアプリを作る				
第15回	内容	Webプログラミングのまとめ	予習	全体を通じて自分はどんなアプリを作れるようになったかを考える				
			復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる				
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプログラムに都度コメントを行う。 期末試験後に正答の解説を行う。 							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	なし							
参考文献	なし							

補足事項	<ul style="list-style-type: none">● PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。● 「どんなアプリケーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。
------	---

科目名	Webアニメーション演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	WED3232		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Webアニメーション」の表現方法を探求する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 「Webアニメーション」概要について理解し、説明できる 「CSS」によるアニメーションの基本的な仕組みを理解し、説明できる 簡単な「Webアニメーション」を自ら制作し、表現できる Webアニメーション技術に関する最新の知識を学修することができる 							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・Webアニメーションの概要	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	本科目の目的を再確認する			
	第2回	内容	事前知識・使用ツールの説明	予習	作使用するツールを下調べしておく			
				復習	ツールの使い方をまとめておく			
	第3回	内容	HTMLとCSS	予習	HTMLとCSSを下調べしておく			
				復習	HTML・CSSの記述方法をまとめておく			
	第4回	内容	トランジション	予習	身近なトランジションを探しておく			
				復習	トランジションの基礎を理解しておく			
	第5回	内容	トランジション エトセトラ	予習	作りたいトランジションを考えておく			
				復習	様々なCSSでトランジションを試す			
	第6回	内容	課題演習(1)	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第7回	内容	アニメーション	予習	身近なアニメーションを探しておく			
				復習	アニメーションの基礎を理解しておく			
	第8回	内容	変形のアニメーション	予習	身近な変形を探しておく			
				復習	様々な変形のアニメーションを試す			
	第9回	内容	変形のアニメーション 応用	予習	作りたいアニメーションを考える			
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する			
	第10回	内容	課題演習(2)	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第11回	内容	三次元	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく			
				復習	三次元の方法をまとめておく			
	第12回	内容	アニメーション エトセトラ	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく			
				復習	三次元アニメーションをオリジナル化する			
	第13回	内容	JavaScript	予習	JavaScriptについて下調べしておく			
				復習	JavaScriptの働きについてまとめておく			
	第14回	内容	課題制作(3)	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第15回	内容	まとめ	予習	自分でどんなものが作れるようになったかを考える			
				復習	オリジナルのアニメーションを実際に作る			
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成したアニメーション作品に都度コメントを行う。 期末試験後に正答の解説を行う 							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							

教科書	『なかしまあ先生の CSS アニメーション入門』（中島俊治、NextPublishing Authors Press）
参考文献	
補足事項	<ul style="list-style-type: none">● PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。● 「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと

科目名	マルチメディア演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	WED3212		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	GIMPを用いた画像処理、Live2Dを用いたアニメーション制作、ミノ式MIDIシーケンサを用いた音楽制作、VRoid Studioと3teneを用いた3DCG制作、を通して、マルチメディアの制作を総合的に学びます。							
到達目標	1. 画像処理の基本的な操作ができる。 2. アニメーション制作のスキルを身につけている。 3. 3DCGの基本的な操作ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	画像処理① GIMPの操作、写真の加工・修整			予習	GIMPについて調べる	
					復習	GIMPの操作を復習する		
	第3回	内容	画像処理② キャラクターの作成			予習	レイヤーについて調べる	
					復習	レイヤーの操作を復習する		
	第4回	内容	画像処理③ キャラクターの作成			予習	作品について考える	
					復習	作品の制作を振り返る		
	第5回	内容	アニメーション制作① Live2Dの操作			予習	Live2Dについて調べる	
					復習	Live2Dの操作を復習する		
	第6回	内容	アニメーション制作② Live2Dのアニメーション			予習	アニメーションについて調べる	
					復習	Live2Dの操作を復習する		
	第7回	内容	アニメーション制作③ Live2Dの作品制作			予習	作品について考える	
					復習	アニメーションの操作を復習する		
	第8回	内容	アニメーション制作④ Live2Dの作品制作 制作物の発表			予習	作品について考える	
					復習	作品の制作を振り返る		
第9回	内容	音楽制作① ミノ式MIDIシーケンサの操作、練習曲制作			予習	MIDIについて調べる		
				復習	ミノ式MIDIシーケンサの操作を復習する			
第10回	内容	音楽制作② 作品制作・ドラム譜			予習	ドラム譜について調べる		
				復習	音符の入力の仕方を復習する			
第11回	内容	音楽制作③ 作品制作			予習	楽譜を理解する		
				復習	作品の制作を振り返る			
第12回	内容	3D① VRoid Studioの操作			予習	3D制作ソフトについて調べる		
				復習	VRoid Studioの操作を復習する			
第13回	内容	3D② 3Dキャラクターの作成			予習	3Dキャラクター構想を考える		
				復習	キャラクター作成操作を復習する			
第14回	内容	3D③ 3Dキャラクターの作成とアニメーション			予習	アニメーション操作について調べる		
				復習	3teneの操作を復習する			
第15回	内容	3D④ 3Dキャラクターのアニメーション・まとめ			予習	これまで作成した課題を確認する		
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	商品とデザイン		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
カンパリコード	WED3223		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	コンピュータと最新のグラフィックアプリケーションでのオペレーション実習により、実社会の各職種に通用する、実践的な課題の制作に取り組み、デザインセンスを高め、自ら創造し提案「できる」能力を磨き、クリエイティブ能力を發揮できる人材の育成を目指す							
到達目標	1. グラフィックデザイン制作アプリケーションの操作技術が身についている。 2. オリジナルのデザイン制作ができる、創造力やセンスが身についている。 3. 学期中に課題2点以上の作成および提出ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）							
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールと、使用グラフィックアプリの説明、）	予習	PC操作に必要な個々の設定情報などを準備する	復習	配布された資料を熟読する	
	第2回	内容	コンピュータ実習1/ネームカードの作成（以下A課題） 「ソフトの基本操作。例題制作練習」	予習	アプリの利用登録を済ませておく	復習	アプリの操作・データの扱いを再確認する	
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A課題の制作「ベースのデザイン」	予習	カードのデザインを考案しておく	復習	作成データのデザイン修正をする	
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A課題の制作「文字・イラスト・写真の編集」	予習	必要な素材を用意する	復習	作成データ校正と修正をする	
	第5回	内容	実物制作実習1/A課題の制作「データプリント・仕上げ」	予習	最終データのチェック・提出準備をする	復習	完成作品とデータを提出する	
	第6回	内容	コンピュータ実習4/オリジナルタンブラーの作成（以下B課題） 「製品のプランニング」	予習	制作プランに必要な資料を用意しておく	復習	制作にあたり不足している資料を用意する	
	第7回	内容	コンピュータ実習5/B課題の制作「コンセプトのデザイン」	予習	自ら製作する課題のラフスケッチを描く	復習	作成データ（形）を見直し修正する	
	第8回	内容	コンピュータ実習6/B課題の制作「素材とベースの定義」	予習	必要な素材アイテムを用意する	復習	作成データ（レイアウト）を見直し修正する	
	第9回	内容	コンピュータ実習7/B課題の制作「編集」	予習	実データの配色を考えまとめる	復習	制作データ（全体）のブラッシュアップする	
	第10回	内容	コンピュータ実習8/B課題の制作「制作データの確認」	予習	テストプリント用データを準備する	復習	製品のレイアウトを見直し修正する	
	第11回	内容	コンピュータ実習9/B課題の制作「データ確認・プリント」	予習	最終データのチェック・提出準備をする	復習	完成データを提出する	
	第12回	内容	コンピュータ実習10/オリジナル時計の作成（以下C課題） 「時計のプランニング」	予習	レイアウトに必要な資料を用意しておく	復習	制作にあたり不足している資料を用意する	
	第13回	内容	コンピュータ実習11/C課題の制作「ベースのデザイン」	予習	必要な画像などの素材を用意する	復習	作成データ校正と修正をする	
	第14回	内容	コンピュータ実習12/C課題の制作「文字・イラスト・写真の編集」	予習	不足しているアイテムを用意する	復習	制作データ（全体）のブラッシュアップする	
	第15回	内容	実物制作実習2/C課題の制作「データ確認・プリント・仕上げ」	予習	最終データのチェック・提出準備をする	復習	完成作品とデータを提出する	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	データと共に提出した課題作品またはプリントに、評価を記して個々に面談する 併せて Google Classroom を用いてフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、作品・発表（20%）、授業態度【自主進行】（10%）							
教科書	『デザイン概論』資料（授業開始時配布）							
参考文献	インターネットにより参考資料各種							
補足事項	デザイン制作アプリ「Canva」のノウハウを深めたい場合は市販のマニュアル本の購入を推奨する							

科目名	ITテクノロジー概論 (旧「情報処理概論」)		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	INS3221		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	仕事に役立つITや経営に関する知識を幅広く身につけます。また、国家試験(ITパスポート)取得も意識した授業展開を行います。ITパスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的なIT知識の証明ができる国家資格です。この資格はIT技術の知識だけでなく、経営全般やIT管理の知識も問われ、多くの企業で新卒採用活動や社員研修で資格取得を課しています。本授業は、ITパスポートの中の「テクノロジー系」の内容を扱います。これからの社会に適応できる技術的な知識を身につけ、理解して、利活用できる力を養うことを目指します。							
到達目標	1. コンピュータ用語やIT知識(テクノロジー系)を身につける。 2. ITを利用・活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	テクノロジーの基礎知識	予習	テクノロジーの全体像を把握する			
				復習	アナログとデジタルの復習をする			
	第3回	内容	ハードウェア	予習	五大装置について調べる			
				復習	コンピュータの構成について復習する			
	第4回	内容	ソフトウェア	予習	ファイルとディレクトリについて調べる			
				復習	ファイル管理について復習する			
	第5回	内容	ネットワーク	予習	IPアドレス、プロトコルについて調べる			
				復習	通信プロトコルについて復習する			
	第6回	内容	コンピュータとデジタル情報	予習	二進数について調べる			
				復習	基数変換について復習する			
	第7回	内容	プログラムとアルゴリズム1	予習	コンピュータ言語について調べる			
				復習	アルゴリズムについて復習する			
	第8回	内容	プログラムとアルゴリズム2	予習	プログラミングについて調べる			
				復習	変数と配列について復習する			
第9回	内容	コンピュータシステム	予習	クラウドについて調べる				
			復習	稼働率について復習する				
第10回	内容	企業レベルの情報セキュリティ	予習	暗号化について調べる				
			復習	企業におけるセキュリティ対策を復習する				
第11回	内容	個人レベルの情報セキュリティ	予習	個人情報、著作権について調べる				
			復習	個人におけるセキュリティ対策を復習する				
第12回	内容	AI	予習	AIについて調べる				
			復習	AIについて復習する				
第13回	内容	データサイエンス	予習	データ分析、ビックデータについて調べる				
			復習	データ分析について復習する				
第14回	内容	まとめ課題1	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
第15回	内容	まとめ課題2	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(30%)、小テスト(40%)、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	『[令和6年度] ITパスポート 超効率の教科書+よく出る問題集』(渡辺さき、インプレス)							
参考文献	なし							
補足事項								

科目名	文書処理演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナバリンクコード	INS3212		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) のワード試験の合格を念頭に置き、基礎からしっかり身に付けていく。文書作成ソフトのワードの操作、特にMOS試験の出題範囲である「文書の管理」、「文字、段落、セクションの挿入と書式設定」、「表やリストの管理」、「参考資料の作成と管理」、「グラフィック要素の挿入と書式設定」、「文書の共同作業の管理」について学ぶ。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOSのワード試験に合格できるスキルを身につけることを目指す。							
到達目標	1. ワードの操作ができる。 2. 見栄えの良い文書が作成できる。 3. 社会生活において困らない文書作成スキルを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	ワードの操作① 文書の管理	予習	文書の作成について調べる			
				復習	文書の作成について復習する			
	第3回	内容	ワードの操作② 文書の管理	予習	文書の管理について調べる			
				復習	文書の管理について復習する			
	第4回	内容	ワードの操作③ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	文字、段落について調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第5回	内容	ワードの操作④ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	セクションについて調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第6回	内容	ワードの操作⑤ 表やリストの管理	予習	表について調べる			
				復習	表の作成について復習する			
	第7回	内容	ワードの操作⑥ 表やリストの管理	予習	リストについて調べる			
				復習	リストの作成について復習する			
	第8回	内容	ワードの操作⑦ 参考資料の作成と管理	予習	参考資料について調べる			
				復習	参考資料の作成について復習する			
	第9回	内容	ワードの操作⑧ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素について調べる			
				復習	グラフィック要素の挿入について復習する			
	第10回	内容	ワードの操作⑨ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素の書式設定について調べる			
				復習	グラフィック要素の書式設定について復習する			
第11回	内容	ワードの操作⑩ 文書の共同作業の管理	予習	文書の共同作業の管理について調べる				
			復習	文書の共同作業の管理について復習する				
第12回	内容	MOS ワードの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
			復習	模擬試験を復習する				
第13回	内容	MOS ワードの模擬試験②	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第14回	内容	MOS ワードの模擬試験③	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第15回	内容	MOS ワードの模擬試験④	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(10 %)、実技(60 %)、【積極的参加】(30 %)							
教科書	『MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集 (よくわかるマスター)』(富士通エフ・オー・エム、FOM 出版)							
参考文献	なし							
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用するため、指定の書名、バージョンを確認して準備してほしい。							

科目名	表計算演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナバリンクコード	INS3222		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) のエクセル試験の合格を念頭に置き、基礎からしっかり身に付けていく。表計算ソフトのエクセルの操作、特に MOS 試験の出題範囲である「ワークシートやブックの管理」、「セルやセル範囲のデータの管理」、「テーブルとテーブルのデータの管理」、「数式や関数を使用した演算の実行」、「グラフの管理」について学ぶ。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOS のエクセル試験に合格できるスキルを身につけることを目指す。							
到達目標	1. エクセルの操作ができる。 2. データの集計ができる。 3. 社会生活において困らない表計算スキルを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	エクセルの操作① ワークシートやブックの管理	予習	ワークシートの作成について調べる			
				復習	ワークシートの操作について復習する			
	第3回	内容	エクセルの操作② ワークシートやブックの管理	予習	ブックの作成について調べる			
				復習	ブックの操作について復習する			
	第4回	内容	エクセルの操作③ セルやセル範囲のデータの管理	予習	セルの操作について調べる			
				復習	セルの操作について復習する			
	第5回	内容	エクセルの操作④ セルやセル範囲のデータの管理	予習	データの管理について調べる			
				復習	データの管理について復習する			
	第6回	内容	エクセルの操作⑤ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる			
				復習	テーブルの作成について復習する			
	第7回	内容	エクセルの操作⑥ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる			
				復習	テーブルの作成について復習する			
	第8回	内容	エクセルの操作⑦ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	数式について調べる			
				復習	演算方法について復習する			
第9回	内容	エクセルの操作⑧ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	関数について調べる				
			復習	演算方法について復習する				
第10回	内容	エクセルの操作⑨ グラフの管理	予習	グラフについて調べる				
			復習	グラフの作成について復習する				
第11回	内容	エクセルの操作⑩ グラフの管理	予習	グラフの種類について調べる				
			復習	グラフの書式について復習する				
第12回	内容	MOS エクセルの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
			復習	模擬試験を復習する				
第13回	内容	MOS エクセルの模擬試験②	予習	エクセルの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第14回	内容	MOS エクセルの模擬試験③	予習	エクセルの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第15回	内容	MOS エクセルの模擬試験④	予習	エクセルの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：レポート・課題 (10 %)、実技 (60 %)、【積極的参加】 (30 %)							
教科書	『MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集 (よくわかるマスター)』(富士通エフ・オー・エム、FOM 出版)							
参考文献	なし							
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用するため、指定の書名、バージョンを確認して準備してほしい。							

科目名	動画編集		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3213		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	動画の撮影、動画のパソコンへの取り込み、テロップの挿入、音楽の挿入、簡単なモーショングラフィックスなどといった動画編集の基本的操作を学び、動画作品を制作します。複数人で協力して撮影するグループワークも行ないます。							
到達目標	1. 動画編集の基本操作が身についている。 2. 簡単なモーショングラフィックスを利用することができる。 3. テロップの入った簡単な動画を作成することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	AviUtlの基本操作	予習	動画編集の基礎を調べる			
				復習	AviUtlの基本操作を復習する			
	第3回	内容	AviUtlによる動画編集	予習	AviUtlの機能について調べる			
				復習	AviUtlの操作を復習する			
	第4回	内容	動画のカット編集	予習	カット編集について調べる			
				復習	カット編集の操作を復習する			
	第5回	内容	動画の撮影：所沢航空記念公園にて（グループワーク）	予習	所沢航空記念公園について調べる			
				復習	撮影した動画を確認する			
	第6回	内容	動画のパソコンへの取り込み・素材集め	予習	取り込み方法を調べる			
				復習	取り込み方法を復習する			
	第7回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	作成中の動画を振り返る			
	第8回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	作品の制作を振り返る			
第9回	内容	動画の閲覧会、動画の撮影：大学にて（グループワーク）	予習	撮影する場所を考える				
			復習	撮影した動画を確認する				
第10回	内容	モーショングラフィックス	予習	モーショングラフィックスについて調べる				
			復習	モーショングラフィックスの操作を復習する				
第11回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	ソフトウェアの操作を復習する				
第12回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	ソフトウェアの操作を復習する				
第13回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	作品の制作を振り返る				
第14回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
第15回	内容	優秀作品の発表会	予習	これまで作成した課題を確認する				
			復習	これまで作成した課題を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	動画創作		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3223		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	「動画創作」は「動画編集」の授業で学んだスキルを元に授業を進めます。この授業を受講する前に「動画編集」の授業を履修することをおすすめします。この授業では2つの動画を制作します。1つ目は、モーショングラフィックスなどを学び、キャラクターが動くVTuber系動画を制作します。2つ目は、音楽とイラストなどを作成し、Music Videoを制作します。							
到達目標	1. 自分自身で構成を考え、動画を作成できる。 2. キャラクターを利用した動画が作成できる。 3. モーショングラフィックスを利用した動画が作成できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	動画編集の復習	予習	動画編集ソフトについて調べる			
				復習	カット編集を復習する			
	第3回	内容	VTuber系動画のキャラクター作成	予習	3Dキャラクターについて調べる			
				復習	キャラクターの作り方を復習する			
	第4回	内容	VTuber系動画作成の練習	予習	合成音声について調べる			
				復習	キャラクターの動きのつけ方を復習する			
	第5回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第6回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第7回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第8回	内容	カメラ制御	予習	カメラ制御について調べる			
				復習	カメラ制御の操作方法を復習する			
第9回	内容	文字アニメーション	予習	文字のアニメーションについて調べる				
			復習	文字アニメの操作方法を復習する				
第10回	内容	Music Video制作	予習	音楽を考える				
			復習	動画の構成をまとめる				
第11回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第12回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第13回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第14回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
第15回	内容	優秀作品の発表会	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	写真撮影技術演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	くどう けんいち 工藤 研一
ナンバリングコード	INS3214		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	様々分野において、写真(画像)は欠かせない表現方法として、いたる所で使用されています。ここでは短期間で写真撮影に関する基礎的な知識と初歩的な撮影方法をしっかり学び、写真で自己表現ができるように身に付けることを目指します。							
到達目標	1. 写真撮影に関する基礎知識とマナーを理解している。 2. 写真撮影による自己表現の方法を身につけている。 3. フォトアルバム制作により、今までに撮影した写真を作品としてまとめ表現することができる。 4. 日本の自然や歴史的な場所で建造物などを撮影することで伝統および近代文化に対する理解を深めることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション： 履修者が所有するカメラの把握。スケジュールの説明			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	講習① 写真の概要、撮影マナーと肖像権			予習	所有しているカメラを確認し準備をする	
					復習	肖像権について理解する		
	第3回	内容	実習① カメラの使い方と身近な被写体の撮影実習			予習	カメラの説明書を読み操作方法を把握する	
					復習	カメラの使い方を再度確認しておく		
	第4回	内容	実習② 課題：学外の屋外撮影実習 予定地：文京区 根津神社・つつじ園など			予習	実習場所を予め把握しておく	
					復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
	第5回	内容	講習② 撮影実習結果の講評と添削			予習	撮影した画像を事前に見ておく	
					復習	プリントする画像を選んでおく		
	第6回	内容	講習③ 構図(フレーミング)、感度と露出			予習	テキストの構図の部分を見ておく	
					復習	構図について理解する		
	第7回	内容	実習③ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：旧古河庭園・バラ園など、日本カメラ博物館見学			予習	実習場所を予め把握し撮影準備をする	
					復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
	第8回	内容	講習④ 撮影実習結果の講評と添削			予習	撮影した画像を予め確認しておく	
					復習	プリントする写真を選択する		
第9回	内容	実習④ 課題：人物・小物アクセサリーの撮影実習			予習	写したい小物アクセサリーを用意する		
				復習	撮影したポイントを理解する			
第10回	内容	実習⑤ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：喜多院・川越の蔵造り町並み、歴史的建造物など			予習	実習場所と被写体を予め把握しておく		
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する			
第11回	内容	講習⑤ 撮影実習結果の講評と添削			予習	撮影した画像を見ておく		
				復習	プリントする写真を選択しプリントする			
第12回	内容	実習⑥ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：森林公園、航空公園など			予習	実習場所を予め把握すること		
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する			
第13回	内容	実習⑦ 課題：フォトアルバム作品制作			予習	制作に使う写真やマスキングテープそろえる		
				復習	足りない写真はプリントしておく			
第14回	内容	実習⑧ 課題：フォトアルバム作品制作			予習	制作に必要な写真などをそろえておく		
				復習	足りない写真はプリントする			
第15回	内容	講習⑥ 実習のまとめ、フォトアルバムの作品発表			予習	制作に必要な写真などをそろえておく		
				復習	他者の作品を鑑賞し今後の参考に			
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	撮影後の添削時にコメントをする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品・発表（60%）、授業態度【積極的参加】（40%）							
教科書	指定教科書なし。参考資料配付							
参考文献	なし							
補足事項	履修期間中は最終課題のアルバム作品の写真が足らなくなるように撮影実習日は必ず出席すること。学外実習は時間の取れる土曜日に実施します。教科書等が無い代わりに必要な費用は、スクラップブック代・SDカード代・プリント代・交通費・入館料等が自己負担となります。							

科目名	情報処理活用		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	マクロを用いたエクセルの応用的な操作、Blender による 3DCG モデル制作、AI 入門、Google フォームを用いた Web アンケートの作成、Java ゲームプログラミング、PDF 編集などを学びます。							
到達目標	1. エクセルの応用的な操作を身につけている。 2. クラウドサービスの操作を身につけている。 3. プログラミングの操作を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	エクセル活用① エクセルマクロの基礎	予習	マクロについて調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第3回	内容	エクセル活用② エクセルマクロ	予習	マクロの活用について調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第4回	内容	エクセル活用③ まとめて PDF 出力など	予習	PDF について調べる			
				復習	PDF 出力マクロを復習する			
	第5回	内容	Blender による 3DCG モデル制作①	予習	Blender について調べる			
				復習	図形の操作を復習する			
	第6回	内容	Blender による 3DCG モデル制作②	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第7回	内容	Blender による 3DCG モデル制作③ 制作物の発表	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第8回	内容	AI 入門①	予習	AI について調べる			
				復習	AI の事柄について復習する			
第9回	内容	AI 入門②	予習	AI の応用について調べる				
			復習	AI の活用を復習する				
第10回	内容	クラウド スクリプトによる Google フォーム作成	予習	Google フォームについて調べる				
			復習	スクリプトで使用されるコマンドを復習する				
第11回	内容	Java ゲームプログラミング① Eclipse の使い方	予習	Java 言語について調べる				
			復習	Eclipse の操作を復習する				
第12回	内容	Java ゲームプログラミング② ブロック崩しゲーム作成	予習	ゲームプログラミングについて調べる				
			復習	ボールとバーの動作プログラムを復習する				
第13回	内容	Java ゲームプログラミング③ ブロック崩しゲーム作成	予習	バーの動きのアルゴリズムを考える				
			復習	バーとブロックの処理を復習する				
第14回	内容	Java ゲームプログラミング④ ブロック崩しゲーム作成	予習	点数に関する処理を考える				
			復習	ゲーム作成について振り返る				
第15回	内容	PDF 編集・まとめ	予習	PDF 編集について調べる				
			復習	これまで作成した課題を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(50 %)、授業態度【積極的参加】(50 %)							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	簿記と会計	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ナンバリングコード	MEA3211	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	(対面)・遠隔・その他()						
授業の内容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。						
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	ノートを確認しておくこと		
	第2回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる		
				復習	簿記の五つの要素についてまとめ		
	第3回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる		
				復習	取引の記帳についてまとめ		
	第4回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく		
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめ。		
	第5回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる		
				復習	決算の意味・手続きをまとめ		
	第6回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる		
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめ		
	第7回	内容	商品売買の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる		
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめ		
	第8回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる		
				復習	三分法で処理する意義をまとめ		
第9回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる			
			復習	各種記入帳をまとめ			
第10回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる			
			復習	取得と売却についてまとめ			
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる			
			復習	債権・債務についてまとめ			
第12回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる			
			復習	取得・売却、台帳についてまとめ			
第13回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる			
			復習	個人企業の取引についてまとめ			
第14回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる			
			復習	精算表作成出来るようにする			
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる			
			復習	企業の決算についてまとめ			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題(20%)、授業態度【積極的取組】(20%)						
教科書	最新段階式 日商簿記検定問題集 3級 四訂版 実教出版						
参考文献							
補足事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具(赤ペン)、定規の5点セットを忘れないでください。						

科目名	簿記演習	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ンパリングコード	MEA3221	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面・遠隔・その他 ()						
授業の内容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。						
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情を常に計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる		
				復習	ノートを確認しておくこと		
	第2回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる		
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる		
	第3回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる		
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる		
	第4回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる		
				復習	手形取引についてまとめる		
	第5回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる		
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる		
	第6回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる		
				復習	購入・売却についてまとめる		
	第7回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて		
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる		
	第8回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる		
				復習	税金の処理についてまとめる		
第9回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる			
			復習	各種記入帳をまとめる			
第10回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる			
			復習	取得と売却についてまとめる			
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる			
			復習	債権・債務についてまとめる			
第12回	内容	従業員の所得税(源泉徴収)、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる			
			復習	各種税の処理についてまとめる			
第13回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる			
			復習	本支店の取引についてまとめる			
第14回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる			
			復習	8桁精算表作成出来るようにする			
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる			
			復習	企業の決算についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60%)、レポート・課題 (20%)、授業態度【積極的取組】(20%)						
教科書	日商簿記検定模擬試験問題集 2024 版 3 級 実教出版						
参考文献							
補足事項	前期「簿記と会計」選択者を前提に、問題集を進めていきます。						

科目名	医療事務総論		単位数	1	授業時間数	16	担当教員	たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	国民皆保険制度により、すべての人は何らかの保険に加入し医療・介護のサービスを適時に受けられるセーフティネットの社会において、サービスを提供する医療従事者として身につけなければならない医療保険制度（介護保険制度包含）と保険診療のしくみを理解し、医事業務一連の流れを理解する。							
到達目標	1. 医療保険制度（介護保険制度含む）の体系が理解できている。 2. 医療サービス提供に係る簡単な医療行為を診療録から読み取れる。 3. 外来受付窓口業務一連の流れが理解できている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2.3.4 ）							
授業計画	第1回	内容	医療（医学）の発展と医事業務	予習	医療事務業務について調べておく			
				復習	医事業務の重要性を復習する			
	第2回	内容	医療機関の種類と組織	予習	テキスト②のP11～15に目を通しておく			
				復習	医療保険の種類をノートにまとめる。			
	第3回	内容	医事業務（窓口業務/入退院業務）の概要	予習	テキスト②のP13～14に目を通しておく			
				復習	医事業務全体像を再復習する			
	第4回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度のあらまし（1）	予習	テキスト②のP43～45に目を通しておく			
				復習	保険診療しくみを復習し、理解しておく			
	第5回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度のあらまし（2）	予習	テキスト②のP46～50に目を通しておく			
				復習	保険給付について要点をまとめる			
	第6回	内容	療養担当規則ならびに介護保険制度の概要	予習	配布プリントに目を通しておく			
				復習	医療行為におけるルール、介護保険の概要復習			
	第7回	内容	窓口業務～会計業務と診療報酬請求 （基本診療料と特掲診療料）	予習	テキスト①のP7～10に目を通しておく			
				復習	レセプト作成に至る一連の流れを再復習する			
	第8回	内容	医事業務総括と履修度確認期末試験（筆記）	予習	第1回～7回の履修についてQ&A			
				復習	履修到達目標への確認と再復習			
第9回	内容		予習					
			復習					
第10回	内容		予習					
			復習					
第11回	内容		予習					
			復習					
第12回	内容		予習					
			復習					
第13回	内容		予習					
			復習					
第14回	内容		予習					
			復習					
第15回	内容		予習					
			復習					
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポート・課題に対する内容確認とコメント（添削）。提出されたレポート等は評価対象となります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）							
教科書	① 『診療報酬の実務』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会） ② 『メディカルシステム論』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会）							
参考文献								
補足事項	「医療管理秘書士」等能力認定試験受験の必須履修科目です。 適時に補足資料（プリント）を配布します。							

科目名	医療管理学概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3223		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	医療技術の発展とともに良質な医療サービス遂行のため、多種多様な医療関係法規がある。そのため、医療（介護）機関に従事する医療事務職員としての領域から良好な医事業務遂行に際し病院組織とその役割分担、さらに医療行為の根拠となる関係法規の理解。さらに安定した医療の管理・運営の指標となる基礎的な医事統計（経営統計）も含めて学んでいく。						
到達目標	1. 病院組織とその役割が理解できている。 2. 医療機関における基本的関係法規（医療法・医師法・健康保険法等）が理解できている。 3. 医療機関の管理・運営ならびに経営指標となる医事統計が理解できている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1. 2. 3. 4 ）						
授業計画	第1回	内容	医療関連法規の概略	予習	テキスト20ページに目を通しておくこと。		
				復習	法規の全体像をノートにまとめる		
	第2回	内容	医療法（1）	予習	テキスト21～22ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第3回	内容	医療法（2）	予習	テキスト23～26ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第4回	内容	医療法（3）	予習	テキスト27～32ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第5回	内容	医師法（1）	予習	テキスト33～34ページを一読しておくこと。		
				復習	重要な条文のポイントをノートにまとめる。		
	第6回	内容	医師法（2）	予習	テキスト35～36ページを一読しておくこと。		
				復習	重要な条文のポイントをノートにまとめる。		
	第7回	内容	保健師助産師看護師法・薬剤師法・その他	予習	テキスト37～40ページを一読しておくこと。		
				復習	各職制資格の要点をまとめ復習する。		
	第8回	内容	医療保険制度（1）	予習	テキスト41～46ページに目を通しておく。		
				復習	医療保険制度の概要をノートにまとめる。		
第9回	内容	医療保険制度（2）	予習	テキスト41～46ページに目を通しておく。			
			復習	医療保険の種類について復習し、要点まとめ。			
第10回	内容	医療保険制度（3）	予習	テキスト47～53ページに目を通しておく。			
			復習	保険給付内容をノートにまとめる。			
第11回	内容	公費負担医療制度（生活保護法）・後期高齢者医療制度	予習	テキスト54.56ページに目を通しておく。			
			復習	各制度について要点をノートにまとめる。			
第12回	内容	介護保険法、その他の法規（労災・他）	予習	テキスト55.57～60に目を通しておく。			
			復習	各制度について要点をノートにまとめる。			
第13回	内容	診療情報と診療録	予習	テキスト17～19ページに目を通しておく。			
			復習	診療録の保管・管理について復習する。			
第14回	内容	医療機関の施設基準と医事統計	予習	配布資料に目を通しておく			
			復習	遵守すべき医療機関ルールを復習し理解する。			
第15回	内容	総括ならびに評価試験実施（文章問題）	予習	これまでのテキスト、資料に目を通しておく。			
			復習	試験出題内容をノートにまとめておく。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	中間時に履修度確認ドリル（課題）を行い、その内容について授業時に解説していく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的授業参加】（20%）						
教科書	『メディカルシステム論』（著者名：一般社団法人医療教育協会 出版社：一般社団法人医療教育協会）						
参考文献	適時に関係資料を配布します。						
補足事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。						

科目名	医療秘書実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たてやま ともひろ 館山 友宏
ナンバリングコード	MEA3212		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	(対面)・遠隔・その他()						
授業の内容	医療秘書に求められる資格要件は、常に患者様の心理を理解し、すべての行為について患者様への医療サービスを念頭に置かなければならない。事務職員として一般的な事務能力、医学に関する知識のみならず医療事務の倫理的知識、医療機関における役割への理解等が求められる。本講義では、疾病・患者様・家族環境等を理解し、あらゆる面からの情報をとらえる専門知識を学ぶ。						
到達目標	1. 医療秘書としてふさわしい素養、接遇対応を身につけ、医療機関という特殊な場所での仕事について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1.2.3.4)						
授業計画	第1回	内容	医療と社会	予習	シラバスを一読し授業の全体像を把握する		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第2回	内容	医療倫理(医療機関)	予習	メディカルシステム論 P5 に目を通す		
				復習	医療倫理を中心に再度確認すること		
	第3回	内容	医療倫理(職員)	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療職員倫理等を再度確認すること		
	第4回	内容	患者の心理	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	患者の心理を良く理解すること		
	第5回	内容	医療従事者に求められる要件	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療従事者として求められていること等を再度確認すること		
	第6回	内容	接遇マナー1(立ち居振る舞い)	予習	医療の接遇 P32~39 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第7回	内容	接遇マナー2(言葉遣い)	予習	医療の接遇 P40~49 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第8回	内容	接遇マナー3(身だしなみ)	予習	医療の接遇 P24~27 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
第9回	内容	接遇マナー4(挨拶・表情)	予習	医療の接遇 P28~31 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第10回	内容	接遇マナー5(電話対応)	予習	医療の接遇 P50~61 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第11回	内容	医学と医療の目的・日本の近代医療	予習	メディカルシステム論 11 ページに目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第12回	内容	医療機関・組織の役割	予習	メディカルシステム論 P15~16 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の役割」等について、学習内容を再度確認すること			
第13回	内容	医療機関・組織の運営1	予習	メディカルシステム論 P11~14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第14回	内容	医療機関・組織の運営2	予習	メディカルシステム論 P11~14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第15回	内容	「医療秘書実務」総まとめ	予習	これまでの学習内容全体に目を通すこと			
			復習	学習した内容全般を振り返り、理解不足の箇所等につき、再度確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業に関する理解度確認の為の「小テスト」(理解度テスト)を実施した際には、当該テストを通じて授業内容の習熟度につき、各学生へのフィードバックを適宜、行うこととする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題()、作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【課題提出状況】(30%)						
教科書	『メディカルシステム論』(著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会) 『医療の接遇』(著者名 医療タイムス社・教育研修事業部編、出版社名 医療タイムス社)						
参考文献	なし						
注意事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。						

科目名	風土と文化		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	CUL3213		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	歴史・自然環境と文化との関係について学ぶ。特に「古都」の魅力について、みやこが大和（現在の奈良県）の明日香に置かれていた時代からの歴史をたどる。都という空間が現代に生きる私たちの感性に及ぼしているさまざまな影響について考察する。						
到達目標	1. 古都の歴史的展開と特性についての理解を深めている。 2. 歴史と風土の関わりについての理解を深めている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2）						
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～日本の世界遺産について	予習	日本国内の「世界遺産」について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第2回	内容	飛鳥のみやこ①	予習	飛鳥について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第3回	内容	飛鳥のみやこ②	予習	飛鳥の歴史と飛鳥を詠んだ和歌を調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第4回	内容	近江京と藤原京	予習	近江国の歴史と地理について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第5回	内容	藤原京から平城京へ	予習	遷都の歴史と藤原京について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第6回	内容	平城京の実態	予習	平城京の歴史と地理について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第7回	内容	平城京と社寺	予習	春日大社と興福寺について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第8回	内容	東大寺と正倉院	予習	聖武天皇と大仏建立について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第9回	内容	平城京から長岡京へ	予習	長岡京について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第10回	内容	怨霊と長岡京	予習	平安遷都前後の歴史を調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第11回	内容	平安遷都の真相	予習	御霊について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第12回	内容	平安京の社寺	予習	上賀茂下賀茂神社と東寺について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第13回	内容	境域の内と外	予習	京城と境について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第14回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第15回	内容	平泉～北の「みやこ」	予習	平泉について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【主体性】（30％）						
教科書	資料を配布する						
参考文献	必要に応じて指示する						
補足事項							

科目名	文化を訪ねる		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	京都の歴史、文化、伝統工芸等について、各自の学びたいテーマを設定し、12月初旬に実際に現地へ訪ねテーマに合わせて学習する。事前学習として、事前調査と行動計画の作成を行い、現地訪問後の事後学習として、学んだことを発表する。							
到達目標	1. 事前学習において、テーマの設定、オンラインでの事前調査、活動計画の作成ができる 2. 活動計画を滞りなく実施し、グループメンバーと円滑なコミュニケーションを取ることができる 3. 事後学習において、自身の学んだことを Power Point 等を利用して発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	グループ決め、テーマ設定	予習	テーマの候補を用意しておく			
				復習	テーマに合わせた訪問先を検討する			
	第3回	内容	テーマに合わせたオンライン調査	予習	テーマに合わせた訪問先の候補を用意しておく			
				復習	各訪問先への移動時間を整理する			
	第4回	内容	行動計画の作成	予習	オンライン調査の内容を整理しておく			
				復習	行動計画を作成し、提出する			
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	美化活動で訪れる場所を確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第6回	内容	京都を歩くⅠ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第7回	内容	京都を歩くⅠ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
第9回	内容	京都を歩くⅡ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第10回	内容	京都を歩くⅡ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第12回	内容	京都を歩くⅢ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第13回	内容	京都を歩くⅢ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第14回	内容	発表の準備	予習	実際に行動した記録を整理しておく				
			復習	発表資料を完成させ、提出する				
第15回	内容	発表	予習	発表の練習をする				
			復習	自身の発表の振り返りを行う				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	行動計画および発表について、口頭でコメントをお伝えします							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（35%）、作品・発表（35%）、授業態度【現地訪問】（30%）							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します							
参考文献	指定しません。授業内で必要に応じて指示します							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義							

科目名	古典文学を読む		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナンバリングコード	CUL3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	8世紀初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読み進める。上巻には神々の世界が描かれており、その誕生から始まる様々な神の姿や国土の起源、多くの事象の由来などを語る日本神話について丁寧な解説を加え、相互に対話を重ねて読み解いていく。							
到達目標	1. 日本神話の実相についての理解を深めている。 2. 古事記神話を通じて日本文化の特性についての理解を深めている。 3. 主要な神の特徴について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1、2)							
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	日本の神話について調べる			
				復習	神話の特性と歴史についてノートにまとめる			
	第2回	内容	「序」を読む	予習	古事記の成立について調べる			
				復習	古事記編纂に至るまでの歴史的背景をノートにまとめる			
	第3回	内容	世界の始まり「天地初発の時」①	予習	疑問点を書き出しておく			
				復習	実際に声に出して読めるよう繰り返し練習する			
	第4回	内容	世界の始まり「天地初発の時」②	予習	疑問点を書き出しておく			
				復習	内容をノートにまとめる			
	第5回	内容	国土の成り立ち「大八島国の誕生」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「大八島国」についてノートにまとめる			
	第6回	内容	死の起源とあの世「黄泉国訪問」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「火の神」誕生の経緯をノートにまとめる			
	第7回	内容	最高神天照大御神の誕生「禊と三貴子」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	三貴神誕生の経緯をノートにまとめる			
	第8回	内容	アマテラスとスサノヲ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「ウケヒ」から誕生した神をノートにまとめる			
	第9回	内容	アマテラスの岩屋戸籠り	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	神々が果たした役割をノートにまとめる			
	第10回	内容	八俣の大蛇と「八雲たつ出雲」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	スサノヲと出雲の関りをノートにまとめる			
	第11回	内容	オオクニヌシと因幡の白ウサギ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	大国主誕生までの経緯をノートにまとめる			
	第12回	内容	国譲りと出雲大社	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	出雲神話についてノートにまとめる			
	第13回	内容	天孫降臨と女神神コノ花のサクヤビメ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	天孫降臨の前後についてノートにまとめる			
	第14回	内容	海幸彦と山幸彦	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	神話と始祖伝承についてノートにまとめる			
	第15回	内容	授業の終わりにあたって	予習	古事記上巻の展開をノートにまとめる			
				復習	古事記上巻を声に出して読んで理解に努める			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(70 %)、作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【主体性】(30 %)							
教科書	資料を配布							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項								

科目名	近代文学を読む		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナバリンクコード	CUL3223		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	日本の明治期以降の文学である近代文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。様々なジャンルの近代文学に親しみ、作品を味わう姿勢を養うとともに、近代文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。							
到達目標	1. 近代文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 近代文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 近代文学の作品を読解したことを通して、近代文学史を理解している。 4. 近代文学作品の解釈の多様性について理解できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、近代文学の研究の基礎	予習	シラバスを読み、内容を理解する			
				復習	取り上げる近代文学の作品について確認する			
	第2回	内容	幸田露伴「五重塔」	予習	幸田露伴「五重塔」を読む			
				復習	作品と作者、近代文学の黎明について整理する			
	第3回	内容	森鷗外「舞姫」	予習	森鷗外「舞姫」読む			
				復習	作品と作者、鷗外の影響について整理する			
	第4回	内容	樋口一葉「たけくらべ」	予習	樋口一葉「たけくらべ」を読む			
				復習	作品と作者、近代女性文学について整理する			
	第5回	内容	夏目漱石「夢十夜」	予習	夏目漱石「夢十夜」を読む			
				復習	作品と作者、明治期の高踏派について整理する			
	第6回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」	予習	与謝野晶子「みだれ髪」を読む			
				復習	作品と作者、女性の近代化について整理する			
	第7回	内容	島崎藤村「破戒」	予習	島崎藤村「破戒」を読む			
				復習	作品と作者、自然主義文学について整理する			
	第8回	内容	志賀直哉「城崎にて」	予習	志賀直哉「城崎にて」を読む			
				復習	作品と作者、白樺派について整理する			
第9回	内容	芥川龍之介「蜘蛛の糸」	予習	芥川龍之介「蜘蛛の糸」を読む				
			復習	作新と作者、近代児童文学の始まりを整理する				
第10回	内容	中島敦「山月記」	予習	中島敦「山月記」を読む				
			復習	作品と作者、中国古典との関わりを整理する				
第11回	内容	高村光太郎「智恵子抄」	予習	高村光太郎「智恵子抄」を読む				
			復習	作品と作者、韻文作品について整理する				
第12回	内容	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	予習	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を読む				
			復習	作品と作者、理想郷の志向について整理する				
第13回	内容	川端康成「古都」	予習	川端康成「古都」を読む				
			復習	作品と作者、ノーベル賞受賞の意義を整理する				
第14回	内容	三島由紀夫「金閣寺」	予習	三島由紀夫「金閣寺」を読む				
			復習	作品と作者、その美意識について整理する				
第15回	内容	近代文学のまとめ	予習	ノートやレポートを自己点検し、復習する				
			復習	作者や作品および作品のジャンルや近代文学史の基礎事項を整理する				
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎時間作成したレポート及び、発表をフィードバックし、レポートのコメントに従って、各自補充し再提出を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（10%）、実技（ ）、授業態度【主体性】（20%）							
教科書	適宜、提示します。							
参考文献	適宜、提示します							
補足事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出し、作成したレポートを基に発表を行います。 授業時には個人の端末（スマートフォン、タブレット、PC）を用いて、参考となるwebを閲覧します。							

科目名	図書館概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリングコード	LIS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。							
到達目標	1. 図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2. 公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3. 社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 2、3、5 ） 文化表現学科（ 2、3、4 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容と進め方を理解する			
	第2回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる			
				復習	図書館の館種別機能を理解する			
	第3回	内容	図書館サービスの社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを目を通す			
				復習	公共図書館の社会的意義を理解する			
	第4回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる			
				復習	日本の公共図書館の歴史について理解する			
	第5回	内容	図書館法および関連法規	予習	図書館法を予読する			
				復習	図書館法の内容を理解する			
	第6回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する			
				復習	図書館の知的自由とは何かを理解する			
	第7回	内容	前半のまとめ・グループワーク	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる			
				復習	図書館の知的自由についてレポートを書く			
	第8回	内容	国立図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる			
				復習	授業で扱った図書館のウェブサイトを目を通す			
第9回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる				
			復習	公共図書館の機能について理解する				
第10回	内容	学校図書館の制度と機能	予習	学校図書館のサービス対象を調べる				
			復習	出身校の図書館ウェブサイトを目を通す				
第11回	内容	大学図書館の制度と機能・専門図書館の制度と機能	予習	附属図書館のウェブサイトを確認し機能を知る				
			復習	専門図書館のウェブサイトを確認しサービス内容を確認する				
第12回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる				
			復習	司書の資格、業務について理解する				
第13回	内容	図書館と他機関との連携	予習	MLA連携とは何か調べる				
			復習	埼玉県内の図書館における連携・協力を理解する				
第14回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論と展望	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読む				
			復習	現代図書館界の課題と展望を理解する				
第15回	内容	後半のまとめ・グループワーク	予習	授業内で紹介したニュースを目を通す				
			復習	図書館の課題についてレポートを作成する				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	希望者に対し、課題へのコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、授業態度【グループワーク】（30%）							
教科書	『図書館情報学基礎資料 第4版』（今まど子、小山憲司・編著、樹村房） 加えて、授業資料を配布します							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』（高山正也、岸田和明・編著、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』（塩見昇・編著、日本図書館協会）							
足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	図書館サービス概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	LIS3212	授業形態	講義	実務経験				
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。							
到達目標	1. 図書館サービスの内容と意義について説明できる 2. 図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3. 近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(2、5) 文化表現学科(2、3、4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく	復習	本授業の内容と進め方を理解する	
	第2回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを開覧する	復習	図書館サービスの内容について理解する	
	第3回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート(授業内で紹介)を予読する	復習	図書館サービスの変遷について理解する	
	第4回	内容	図書館サービスを支える理念	予習	図書館員の倫理要綱を予読する	復習	図書館サービスに関するガイドラインを読む	
	第5回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる	復習	資料提供サービスの仕組みを理解する	
	第6回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる	復習	情報提供サービスの種類について理解する	
	第7回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる	復習	近隣の公共図書館の課題解決型サービスについてウェブサイトを開覧する	
	第8回	内容	地域に合わせた図書館サービス(グループワーク)	予習	コミュニティサービスとは何か調べる	復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く	
	第9回	内容	障害者サービス、アウトリーチとエクステンション	予習	デジ資料とは何か調べる	復習	公共図書館におけるアウトリーチ事例を調べる	
	第10回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる	復習	年代に合わせたサービスについて理解する	
	第11回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する	復習	図書館における著作権ガイドラインを読む	
	第12回	内容	利用者に合わせた図書館サービス(グループワーク)	予習	図書館における利用者接遇について自分なりの意見を考えてくる	復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く	
	第13回	内容	図書館サービスの連携と協力、利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる	復習	図書館サービス連携の事例を読む	
	第14回	内容	図書館サービスと危機管理	予習	図書館における被災のニュースを調べる	復習	図書館の資料修復方法を調べて読む	
	第15回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る	復習	図書館サービスの展望について理解する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(60%)、授業態度【グループワーク】(40%)							
教科書	指定しません。授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ4 図書館サービス概論』(宮部頼子・編、樹村房) 『事例で学ぶ図書館1 事例で学ぶ図書館サービス概論』(吉井潤・著、青弓社)							
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	児童サービス論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3221	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング、ビブリオバトルについては演習形式で理解を深めます。						
到達目標	1. 図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している 2. 児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3. 子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(1、2、3、5) 文化表現学科(1、2、3、4)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 児童にとっての読書の意味	予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
				復習	本授業の内容を理解する		
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営	予習	児童サービスの意義とは何か調べる		
				復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第3回	内容	児童向け資料の種類と提供	予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる		
				復習	子どもへの資料提供方法を理解する		
	第4回	内容	乳幼児サービス、YA サービス	予習	ブックスタートについて調べる		
				復習	年齢ごとのサービスの違いについて理解する		
	第5回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス	予習	ディスレクシアについて調べる		
				復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
	第6回	内容	おはなし会の意義と役割(グループワーク・討議)	予習	おはなし会で行われる取り組みについて調べる		
				復習	おはなし会の意義と役割を理解する		
	第7回	内容	読み聞かせの意義と準備	予習	読み聞かせの意義について調べる		
				復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第8回	内容	読み聞かせ演習(発表)	予習	読み聞かせの資料を選び、練習しておく		
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第9回	内容	読み聞かせ演習(発表)②	予習	読み聞かせの資料を選び、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第10回	内容	ブックトークの意義と準備	予習	ブックトークの意義について調べる			
			復習	ブックトークのシナリオを作成する			
第11回	内容	ブックトーク演習(発表)	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第12回	内容	ブックトーク演習(発表)②	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第13回	内容	ストーリーテリングの意義と準備、ビブリオバトルの意義と準備	予習	ストーリーテリングの意義について調べる			
			復習	ストーリーテリングの準備について理解する			
第14回	内容	ストーリーテリング演習、ビブリオバトル演習(発表)	予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第15回	内容	児童サービスの課題と展望(グループワーク・討議)	予習	児童サービスの課題について調べる			
			復習	児童サービスの展望について理解する			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題および発表に対してコメントを返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (〇)しない 成績評価の方法： レポート・課題(50%)、作品・発表(50%)						
教科書	指定しません。授業資料を配布します						
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』(植松貞夫・鈴木佳苗・編、樹村房) 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 児童サービス論 新訂版』(堀川照代、日本図書館協会)						
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。						

科目名	マンガ・イラスト表現	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナバリンコード	MAC3211	授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になると思います。イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。						
到達目標	1. 絵を描くための基本を理解してキャラクターを描けるようになっている。 2. キャラクターの感情表現が出来るようになっている。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1 ）						
授業計画	第1回	内容	【○と□を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予習	シラバスを確認する。		
				復習	円と四角を描いてみる。		
	第2回	内容	【いろんな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予習	シラバスを確認しておく。		
				復習	いろんな表情を描いてみる。		
	第3回	内容	【感情の表現を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	感情の表現をあらためて描いてみる。		
	第4回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	喜怒哀楽の表情をあらためて描いてみる。		
	第5回	内容	【色んな顔の向きを描こう】色んな角度の顔を描けるようにする。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	色んな顔の向きのバリエーションを描いてみる。		
	第6回	内容	【自画像を描こう】対象をしっかりと描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	自画像の課題のバリエーションを描いてみる。		
	第7回	内容	【顔と表情を決める】顔を構築する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	顔と表情を決める課題のバリエーションを描いてみる。		
	第8回	内容	【透視図法の基礎を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。		
				復習	透視図法の基礎のバリエーションを描いてみる。		
第9回	内容	【一点透視図法から二点透視図法】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
			復習	パースの課題のバリエーションを描いてみる。			
第10回	内容	【透視図法のまとめ】透視図法を再確認。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
			復習	透視図法のバリエーションを描いてみる。			
第11回	内容	【人物と背景】人物と背景のイラストを完成させる。	予習	背景のイメージを固めておこう。			
			復習	人物と背景のバリエーションを描いてみる。			
第12回	内容	【全身で感情表現してみよう】感情と動きを全身で描く。	予習	全身の動きを描いてみる。			
			復習	全身で感情表現の課題のバリエーションを描いてみる。			
第13回	内容	【シワの描き方を学ぼう】シワの描き方を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
			復習	シワの描き方の課題のバリエーションを描いてみる。			
第14回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
			復習	私の部屋を描いてみる。			
第15回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を完成させる。			
			復習	私の部屋の課題のバリエーションを描いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【集中力・居眠り】（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項							

科目名	アニメーション表現		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナバリングコード	MAC3212		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	アニメーションの基本的な理解。 製作工程、決まりごとを学びます。 動きの基本を単純で簡単なところから学んでいきます。							
到達目標	1. アニメーション制作の工程を理解できている 2. アニメーションの基本的な動きを実際に描いてみて知識と描写力を身につけている。 3. アニメーションの表現方法の幅の広さを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1 ）							
授業計画	第1回	内容	動かしてみよう「振り子の動き」。	予習	アニメーション制作講義の再確認。			
				復習	「振り子の動き」講義の再確認。			
	第2回	内容	動かしてみよう「ボールの跳ねる動き」。	予習	「振り子の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの跳ねる動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第3回	内容	動かしてみよう「ボールの移動の動き」	予習	「ボールの移動の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの移動の動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第4回	内容	動かしてみよう「重力と慣性」	予習	「重力と慣性」課題の確認をしておく。			
				復習	「重力と慣性」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第5回	内容	動かしてみよう「ヨセとノコシ」	予習	前回の課題の確認をしておく。			
				復習	「ヨセとノコシ」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第6回	内容	動かしてみよう「手を振る」	予習	「ヨセとノコシ」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る」課題の確認と修正。			
	第7回	内容	動かしてみよう「手を振る2」	予習	「手を振る」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る2」課題の確認と修正。			
	第8回	内容	動かしてみよう「お辞儀」	予習	「手を振る2」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
	第9回	内容	動かしてみよう「お辞儀2」	予習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀2」課題の確認と修正。			
	第10回	内容	動かしてみよう「立ち上がる」	予習	「お辞儀2」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
	第11回	内容	動かしてみよう「立ち上がる2」	予習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる2」確認と修正。			
	第12回	内容	動かしてみよう「振り返る」	予習	「立ち上がる2」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る」課題の確認と修正。			
	第13回	内容	動かしてみよう「振り返る2」	予習	「振り返る」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る2」課題の確認と修正。			
	第14回	内容	運動の法則。課題「急発進、急停止」	予習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
				復習	慣性の法則の動きを確認しておく。			
	第15回	内容	慣性の法則。課題「タメと変化と停止」	予習	「タメと変化と停止」の確認とスケッチ。			
				復習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【集中力・居眠り】（20%）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項								

科目名	マンガ創作		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナンバリングコード	MAC3221		授業形態	演習	実務経験	有	
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	線画の技術などを深めていく内容になっています。課題もより創作に近づけた内容になっていきます。実際にコマを割ってマンガ作品に挑戦します。						
到達目標	1. 人物はチビキャラから更に進めて5頭身～6頭身のサイズで描くことができています。 2. 絵を描くためのいろいろなアプローチを身につけている。 3. じっさいのマンガ創作の基礎を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1 ）						
授業計画	第1回	内容	【皴を描こう】皴の流れを理解する。	予習	【皴】をスケッチしてみる。		
				復習	【皴】の課題をあらためて描いてみる。		
	第2回	内容	【立体の文字を描こう】立体の文字で物の厚みを表現。	予習	【文字】に厚みをつけるイメージスケッチ。		
				復習	【文字】の課題を元に模写をする。		
	第3回	内容	【立体の家を描く】家を立体で理解する。	予習	【立体の家を描く】課題を元にスケッチ。		
				復習	【立体の家を描く】課題を改めて描いてみる。		
	第4回	内容	【コスチュームをつける】コスチュームをつけ加える。	予習	【コスチューム】のイメージスケッチ。		
				復習	【コスチュームの人物】バリエーションを描く。		
	第5回	内容	【乗り物を描こう】乗り物を描いてみる。	予習	【乗り物】好きな乗り物をスケッチする。		
				復習	【乗り物】課題の続きを進める。		
	第6回	内容	【風景を描こう】風景の描き方の理解。	予習	【風景】をスケッチしてみる。		
				復習	【風景】の課題の続きを進める。		
	第7回	内容	【六頭身のキャラを描こう】キャラを描く。	予習	【六頭身のキャラ】イメージスケッチ。		
				復習	【六頭身のキャラ】課題を改めて描いてみる。		
	第8回	内容	【六頭身のキャラに動きをつける】キャラに動きをつける。	予習	【六頭身のキャラの動き】イメージスケッチ。		
				復習	【六頭身のキャラの動き】課題を改めて描く。		
	第9回	内容	【マンガ制作の流れ】制作プロセスを理解します。	予習	シラバスを確認する。		
				復習	【マンガ制作の流れ】を再確認。		
	第10回	内容	【コマ割りの理解①】コマを割って課題とともに学びます。	予習	物語を考えてみる。		
				復習	【コマ割りの理解①】を再確認。		
	第11回	内容	【コマ割りの理解②】コマに分割していく流れを学びます。	予習	物語を更に考えてみる。		
				復習	【コマ割りの理解②】を再確認。		
	第12回	内容	【コマ割りの理解③】コマを読む進める流れを学びます。	予習	物語のバリエーションを考えてみる。		
				復習	【コマ割りの理解③】を再確認。		
	第13回	内容	【プロット作り】オリジナルのあらすじを考えましょう。	予習	プロットを創る。		
				復習	【プロット作り】を再確認。		
	第14回	内容	【課題を元にコマを割る】コマを実際に割って見ます。	予習	ネームを煮詰める。		
復習				ネームを元にコマ割りをする。			
第15回	内容	【課題を元にコマを割る】アドバイスと共に完成させます。	予習	コマ割りを更に詰めていく。			
			復習	コマ割りを完成させる。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【集中力・居眠り】（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項							

科目名	ノンフィクション入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	MAC3222	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	ノンフィクション作品とは、フィクションではない、即ち、創作が混じらない読み物のことです。目の前にあるリアルな素材をどのように料理して、優れた一品にしていくのかを目指します。卒業生たちは人物、コロナ禍の観光、保育士不足など、身近にある問題を題材に作品に仕上げてきました。取材、執筆を通して、自らの思考力、判断力、表現力を向上させることを目指します。						
到達目標	1. 作品を読み、そこに書かれたテーマを読み取り、読解力を深めている。 2. 執筆で文章表現力を高め、話を聞くことでコミュニケーション能力を高めている。 3. 1人、あるいは数人のグループで作品を仕上げることで、やり抜く力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、ノンフィクションとは何か。	予習	シラバスを読んでおく。	復習	授業内容をもう一度理解する。
	第2回	内容	短編のノンフィクション作品を読む。	予習	自分の好きな作品を選ぶ。	復習	テーマへの考察
	第3回	内容	作品のテーマを考える。	予習	新聞を読んで今何が起きているのかを考える。	復習	テーマを何にするか考える。
	第4回	内容	取材、執筆とは何か。一般的な注意は。	予習	好きな作品を選ぶ。	復習	上記の作品の取材執筆に想いを馳せる。
	第5回	内容	企画編集会議。何を取り上げるか。	予習	取り上げたいテーマを考えてくる。	復習	テーマを深掘りする。
	第6回	内容	これからの取材・執筆の計画を立てる。	予習	これまでの授業をもう一度理解しておく。	復習	計画を完成させる。
	第7回	内容	取材ノートの作成。	予習	これまでの授業の流れを見ておく。	復習	取材ノートを考える。完成。
	第8回	内容	リサーチ、取材の準備。	予習	取材をどうするかを考察。	復習	リサーチ。
	第9回	内容	取材①	予習	取材をどうするか。	復習	取材後のまとめ。
	第10回	内容	取材②	予習	取材に対する考察。	復習	取材後のまとめ。
	第11回	内容	取材③	予習	取材に対する考察。	復習	取材後のまとめ。
	第12回	内容	文字起こし。執筆。	予習	文字起こしをする。	復習	文字起こしを継続。
	第13回	内容	追加取材、見直し。執筆。	予習	取材内容を見直す。	復習	内容を再考察。
	第14回	内容	執筆。	予習	執筆。	復習	執筆。
	第15回	内容	作品発表会。	予習	最終的な確認。	復習	授業全体を振り返る。
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題を完成させるまで粘り強く指導する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 80 %）、授業態度【 積極的参加、出席 】（ 20 %）						
教科書	適宜プリント配布						
参考文献	『調べる技術書く技術』（野村進著、講談社現代新書）						
補足事項	取材などで人と接するために、正しい敬語や適切なマナーを身につける。						

科目名	小説創作		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	やまなか たけし 山中 剛史
ナンバリングコード	MAC3224		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	小説は、ただ「お話」を書けば良いというものではありません。映画や漫画と異なり、全て言葉のみで創作されるものです。また、語り、人称、視点、プロットなど、ストーリーを語る上での様々なテクニックがあります。まずは基礎的な小説のあり方を学んだ上で、小課題を積み重ねていくことで、小説創作の技術習得を目標とします。							
到達目標	1. 小説を創作するための発想力、表現力などを身につけている 2. 小説の構造や意味をより深く考える視野を涵養することができる 3. 出版・作家という職業・業界について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 「小説」とはなんだろうか。	予習	シラバスを読んでおく	復習	講義ノートを確認する	
	第2回	内容	「言葉」を使って描く(1) 言葉のスケッチ	予習	自己紹介用紙を記入する	復習	課題を振り返る	
	第3回	内容	「言葉」を使って描く(2) 異化効果	予習	「言葉」に関する講義ノートを確認する	復習	「言葉」の課題を振り返る	
	第4回	内容	「ストーリー」とは何か	予習	短編小説を読む	復習	「ストーリー」の課題を振り返る	
	第5回	内容	短い物語を書いてみる一実作演習	予習	実作のための準備をする	復習	実作課題を振り返る	
	第6回	内容	短い物語の講評会	予習	短い物語を読む	復習	講評を受けて自分の課題を振り返る	
	第7回	内容	「視点」を考える一実作演習	予習	短編小説を読む	復習	「視点」課題を振り返る	
	第8回	内容	視点変換の講評	予習	「視点」講義ノートを確認する	復習	講評を受けて自分の課題を振り返る	
	第9回	内容	「語り手」を変えてみる一実作演習	予習	短編小説を読む	復習	「語り手」課題を振り返る	
	第10回	内容	「語り手」変換の講評	予習	「語り手」講義ノートを確認する	復習	講評を受けて自分の課題を振り返る	
	第11回	内容	小説の構造(1)「小説とは何か」を読む	予習	プリントを読んでおく	復習	「小説とは何か」講義ノートを確認する	
	第12回	内容	小説の構造(2) 虚構のリアリティ	予習	小説の構造について考える	復習	「小説の構造」課題を振り返る	
	第13回	内容	名作を分析してみる	予習	短編小説を読む	復習	「名作」講義ノートを確認する	
	第14回	内容	本が出版されるまで一校正・編集・出版	予習	出版ということを考える	復習	「出版」講義ノートを確認する	
	第15回	内容	まとめ	予習	これまで学んだことを確認する	復習	これまでの授業についてまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間を取る。実作演習については講評の回を設ける。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(40%)、作品・発表(40%)、実技()%、授業態度〔積極的参加〕(20%)							
教科書	プリントを配布する。							
参考文献	適宜、指示する。							
補足事項	講義内容は受講者数などにより変更する場合がある。							

科目名	コミュニケーションと心理	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	GEE3212	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	本講義では、心理学の理論や技法を用いて、個々の人間関係や社会の現場(職場)で生きる実践的なコミュニケーション能力の基礎の育成を図ることを目的とする。傾聴やアサーション等の知見を学び、ワークを通して受講生の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。						
到達目標	1. 人の話をしっかりと傾聴できる。 2. コミュニケーションに必要な心理学の基礎を理解している。 3. 将来の社会人に必要なコミュニケーション能力の土台を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。		
				復習	授業の概要を理解する。		
	第2回	内容	コミュニケーション能力	予習	コミュニケーションについて調べる。		
				復習	について理解し整理する。		
	第3回	内容	さまざまな心の関係	予習	心の関係について自分なりに考える。		
				復習	心の関係について理解し整理する。		
	第4回	内容	心理的ストレスの低減方法	予習	ストレス低減について考えておく。		
				復習	ストレスの低減方法について理解し整理する。		
	第5回	内容	グループワーク①(聴き方)	予習	積極的にワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワーク学んだことを整理する。		
	第6回	内容	グループワーク②(聴き方)	予習	反省点を踏まえて積極的にワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワーク学んだことを整理する。		
	第7回	内容	傾聴の意義と効用	予習	傾聴についてしらべる。		
				復習	学んだことについて理解し整理する。		
	第8回	内容	非言語コミュニケーション	予習	非言語について調べる。		
				復習	学んだことについて理解し整理する。		
第9回	内容	応答技法	予習	応答技法について調べる。			
			復習	学んだことについて理解し整理する。			
第10回	内容	受容と共感	予習	受容と共感の意味を調べる。			
			復習	学んだことについて理解し整理する。			
第11回	内容	事例(ケース)研究①	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理する。			
第12回	内容	事例(ケース)研究②	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理する。			
第13回	内容	グループワーク③(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワーク学んだことを整理する。			
第14回	内容	グループワーク④(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワーク学んだことを整理する。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	受講生に対して、ワーク参加状況、発表・発言内容、試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する 成績評価の方法：筆記試験(40%)、レポート・課題(60%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。						
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	臨床心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3231		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	臨床心理学は応用心理学の一つである。臨床心理学は心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようとしたり、心の問題に向き合おうとするとき、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、受講生自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。							
到達目標	1. 臨床心理学の代表的な理論の基礎的知識を習得している。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につけている。 3. 自己と他者のメンタルヘルスに寄与できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3 ）							
授業計画	第1回	内容	1. イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。			
				復習	授業内容と評価方法について理解する。			
	第2回	内容	2. 臨床心理学とは何か	予習	臨床心理学について調べる。			
				復習	臨床心理学について理解し整理する。			
	第3回	内容	3. 臨床心理学の心の捉え方と心理療法 精神分析① [心の構造等]	予習	精神分析学について調べる。			
				復習	精神分析学の心的構造について理解する。			
	第4回	内容	精神分析② [防衛機制]	予習	防衛機制について調べる。			
				復習	防衛機制について理解し整理する。			
	第5回	内容	精神分析③ [精神分析的な心理療法]	予習	精神分析的な心理療法について調べる。			
				復習	精神分析的な心理療法について理解し整理する。			
	第6回	内容	行動主義① [学習理論等]	予習	行動主義の学習理論について調べる。			
				復習	学習理論について理解し整理する。			
	第7回	内容	行動主義② [行動療法]	予習	行動療法について調べる。			
				復習	行動療法について理解し整理する。			
	第8回	内容	人間性心理学① [自己実現等]	予習	人間性心理学について調べる。			
				復習	自己実現について理解し整理する。			
	第9回	内容	人間性心理学② [ロジャース他]	予習	ロジャースの理論を調べる。			
復習				ロジャースについて理解し整理する。				
第10回	内容	人間性心理学③ [来談者中心療法]	予習	来談者中心療法を調べる。				
			復習	来談者中心療法について理解し整理する。				
第11回	内容	4. 心理アセスメント、心の問題の理解と対応	予習	心理アセスメント等を調べる。				
			復習	心理アセスメント等について理解し整理する。				
第12回	内容	5. 心と脳	予習	心と脳について理解し整理する。				
			復習	心と脳について理解し整理する。				
第13回	内容	6. 発達障害、心の病気	予習	発達障害について調べる。				
			復習	発達障害と心の病について理解し整理する。				
第14回	内容	7. 自分自身のメンタルヘルスを考える 臨床心理学の理論の活用	予習	メンタルヘルスについて調べる。				
			復習	自己の心の健康について理解し整理する。				
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。				
			復習	学んだ知見の活用について考察をする。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）、							
教科書	特に指定しない							
参考文献	他の参考図書等については、講義の中で必要に応じて適宜紹介する							
補足事項	講義を中心におこなう。実際の事例(ケース)などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。 受講生には自ら学び考える意欲をもって講義に参加する態度が求められる。							

科目名	カウンセリング入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3232	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	将来、社会生活において、他者から多岐にわたる内容の相談をされ、それらに対してできる限りの確に応答しなければならない機会が想定される。本講義では、カウンセリング、相談の基礎的知識の習得と現場で生きる相談の実践的能力の基本の育成を図る。さらに、相談を受ける私たちの心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。						
到達目標	1. カウンセリングの意義、方法等に関する基本知識と方法を習得している。 2. カウンセリングの基本を理解し、それを社会生活の相談場面での実践に活かすことを考えられる。 3. 人の心の問題を理解することを試み、他者の心に寄り添う相談実践をおこなえる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。		
				復習	授業の概要を理解する。		
	第2回	内容	カウンセリングとは何か	予習	カウンセリングについて調べる。		
				復習	カウンセリングについて理解し整理する。		
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係について調べる。		
				復習	心と心の関係について理解し整理する。		
	第4回	内容	ワーク①(カウンセリングの態度と方法)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。		
	第5回	内容	「傾聴」等の理解と活用	予習	傾聴について調べる。		
				復習	傾聴について理解し整理する。		
	第6回	内容	事例研究①(逸脱行動：相談者への理解)	予習	事例の展開について予測する。		
				復習	学んだことを整理し理解する。		
	第7回	内容	カウンセリングの理論	予習	カウンセリングの理論について調べる。		
				復習	学んだカウンセリングの理論について理解し整理する。		
	第8回	内容	カウンセリングの方法①(面接の構造)	予習	カウンセリングの方法について調べる。		
				復習	面接の構造について理解し整理する。		
第9回	内容	カウンセリングの方法②(アセスメント)	予習	アセスメントについて調べる。			
			復習	アセスメントについて理解し整理する。			
第10回	内容	カウンセリングの方法③(対応方法)	予習	カウンセリングにおける対応方法について調べる。			
			復習	対応方法について理解し整理する。			
第11回	内容	事例研究②(心の発達：他者との連携)	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理し理解する。			
第12回	内容	応答技法	予習	カウンセリングにおける応答技法について調べる。			
			復習	応答技法について理解し整理する。			
第13回	内容	ワーク②	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
第14回	内容	相談を受ける人の心の健康	予習	相談を受ける人の心の健康について調べる。			
			復習	学んだ人の心の健康について理解し整理する。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する 成績評価の方法：筆記試験(40%)、レポート・課題(60%)						
教科書	特に指定しない						
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。						
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	アサーション		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3221		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	アサーションとは「自分も他者も大切に自己表現」である。私たちの社会生活において、他者との関係の質を高め、他者とのより豊かなコミュニケーションを育む大切な考え方であり心の態度である。本講義ではアサーションについての基礎的知識の習得と実際の活用練習をおこない、個々のより良いコミュニケーション能力の育成をはかりたい。							
到達目標	1. アサーションの意義、方法等に関する基本知識を習得している。 2. アサーションの基本を理解し、それを自己の社会生活に活かすことを考えられる。 3. 他者との心の通ったコミュニケーションをより積極的におこなえる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2,4）							
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。			
				復習	授業の概要を理解する。			
	第2回	内容	アサーションとは何か	予習	アサーションについて調べる。			
				復習	アサーションについて理解し整理する。			
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係の有様について調べる。			
				復習	心と心の関係について理解し整理する。			
	第4回	内容	アサーションワーク①(コミュニケーションを楽しむ)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第5回	内容	アサーションの考え方	予習	アサーションの考え方について調べる。			
				復習	アサーションの考え方について理解し整理する。			
	第6回	内容	アサーションワーク②(アサーティブな自己表現)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第7回	内容	自己表現の種類	予習	自己表現の種類について調べる。			
				復習	自己表現の種類について理解し整理する。			
	第8回	内容	アサーションワーク③(考え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
第9回	内容	アサーティブな考え方と身につくこと	予習	アサーティブな考え方について調べる。				
			復習	アサーティブな考え方と身につくことについて理解し整理する。				
第10回	内容	アサーションワーク④(伝え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
			復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。				
第11回	内容	心に届くコミュニケーション	予習	心に届くコミュニケーションについて調べる。				
			復習	心に届くコミュニケーションについて理解し整理する。				
第12回	内容	心のピラミッド	予習	心のピラミッドについて調べる。				
			復習	心のピラミッドについて理解し整理する。				
第13回	内容	アサーションワーク⑤(心のエネルギーと心の元気)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
			復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。				
第14回	内容	自己の心の窓を考える	予習	心の窓について調べる。				
			復習	自己の心の窓について理解し整理する。				
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
			復習	学んだことを今後活かせるように心がける。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。							
補足事項	グループワークを軸におこなう。受講生に楽しくわかりやすい内容を心がけたい。ワーク等では受講生同士、受講生と教員と双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し(無理をしない範囲で)発言する態度が求められる。							

科目名	ニュースと心理		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	PSY3233		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	本授業は、人がメディアの情報(ニュース)に接したときの受容特性とメディア自体の特性について、解説及び考察するものである。人が受容する情報は事実なのか、虚偽なのか、真偽を見分けるにはどうしたらよいか。このような疑問に答えを導き出すヒントとなる授業とする。「予習」「調査」に重点を置き、疑問、矛盾を見つめること。そうすることで活発な議論ができるはずである。予習は質問形式になっているので、ある場合は内容をノートに記述して授業に臨むこと。							
到達目標	1. 情報を読み取る力を身につけている。 2. 情報の真偽を判断する力を身につけている。 3. 情報を分析し、自分で考えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3)							
授業計画	第1回	内容	メディアと人間	予習	新聞を読んでおくこと。			
				復習	新聞、テレビ、SNSの情報で「これは怪しい」と思う情報を探す。			
	第2回	内容	迷信・呪いを信じるのは何故	予習	不合理なニュースを見たことはありますか。			
				復習	情報の真偽について考える。			
	第3回	内容	勝利を信じるのは何故	予習	「こうなってほしい」と思った出来事がありますか。			
				復習	新聞を読んで復習する。			
	第4回	内容	ニュースの受容特性	予習	1, 2, 3の授業を通じて何が分かったかを考えてくる。			
				復習	みんなで話し合った内容を振り返る。			
	第5回	内容	ニュースと感情の増幅	予習	TV情報に接して怒りを感じたことはありますか。			
				復習	怒りや悲しみの感情がどのように増幅されるか、身近な問題で考えてみる。			
	第6回	内容	メディアのメッセージについて解説する。	予習	新聞を読んで編集者や記者の意図に気づいたことはありますか。			
				復習	メディアのメッセージを、新聞を読んで確認すること。			
	第7回	内容	メッセージ分析1 (新聞)	予習	新聞を読んで編集者や記者の意図に気づいたことはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第8回	内容	メッセージ分析2 (マンガ)	予習	好きなマンガで、作者が言いたいことに気づいたことはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第9回	内容	意見の同調と沈黙の螺旋	予習	自らの体験で一人ぼっちになったことはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第10回	内容	言葉と刷り込み	予習	感動した言葉はありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第11回	内容	メディアとブームの発生	予習	メディア報道を見て、買ってみようと思った商品はありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第12回	内容	メディアバイアス	予習	メディアが偏向していると思ったことはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第13回	内容	科学と似非科学	予習	似非科学であると思ったことはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第14回	内容	信じたがる脳	予習	信じたいと思っていることはありますか。			
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。			
	第15回	内容	授業のまとめと振り返り	予習	授業を通じて気づいたことはありますか。			
				復習	現実に即して考えてみる。			
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								

課題へのフィードバック	適宜、クラスルームを通じて課題を出し、解答をフィードバックします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出】（30%）
教科書	使用しません
参考文献	特に指定しません。
補足事項	みんなで話し合い、考えながら進めるアクティブラーニング授業です。

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/bunka_resume/bh_syllabus_2024.pdf

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	情報と社会	2	講義	樋田敦子	3
2	コミュニケーション論	2	講義	樋田敦子	6
3	エアライン英会話	2	演習	平井美知子	44,45
4	エアライン実務	2	演習	平井美知子	52,53
5	マンガ・イラスト表現	2	演習	飯田耕一郎	88
6	マンガ創作	2	演習	飯田耕一郎	90
7	ニュースと心理	2	講義	樋田敦子	97,98
	計	14			

(実務家教員略歴)

平井 美知子 ～ 国内航空会社の国際客室乗務員として勤務、以降その経験を生かし各所で講師を務める。

飯田 耕一郎 ～ 漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める。

樋田 敦子 ～ 新聞記者として勤務した後、フリーランスに。
雑誌・書籍・ネットメディアの取材執筆のほか、テレビ・ラジオの構成も手がける。著書に「女性と子どもの貧困」「東大を出たあの子は幸せになったのか」「僕らの大きな夢の絵本～東日本大震災、宮古・赤前地区の子どもたち」など。

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。